

「持続可能な名古屋をつくろう!!」

70th
ANNIVERSARY

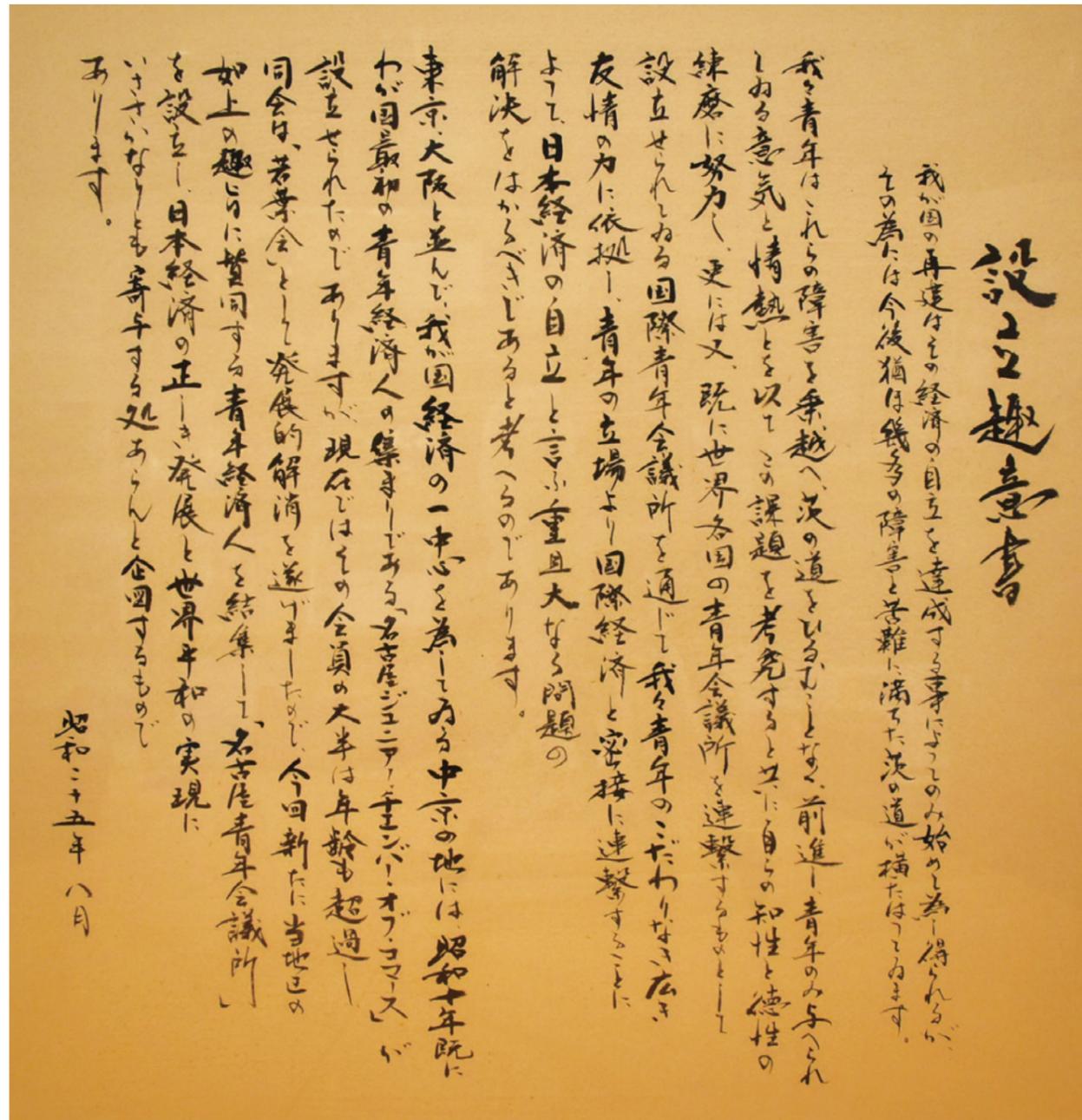
公益社団法人 名古屋青年会議所
設立70周年記念誌

公益社団法人 名古屋青年会議所

公益社団法人 名古屋青年会議所 70周年記念誌 目次

設立趣意書・JCIクリード・JCIミッション・ JCIビジョン・JC宣言文・綱領・JC三信条 ……	2
理事長・歴代理事長代表挨拶……………	4
ご祝辞……………	7
歴代理事長総覧……………	11
歴代理事長対談・活動実績紹介……………	33
名古屋青年会議所の歩み……………	75
第70年度活動概要……………	81
編集後記……………	86

名古屋青年会議所設立趣意書



The Creed of junior chamber International

We Believe;
 That faith in God gives meaning
 and purpose to human life;
 That the brotherhood of man transcends
 the sovereignty of nations;
 That economic justice can best be won by
 free men through free enterprise;
 That government should be of laws rather than of men;
 That earth's great treasure lies in human personality; and
 That service to humanity is the best work of life.

JCI Mission

To provide development opportunities
 that empower young people
 to create positive change.

JCI Vision

To be the leading global network of
 young active citizens

JC宣言文

日本の青年会議所は
 希望をもたらす変革の起点として
 輝く個性が調和する未来を描き
 社会の課題を解決することで
 持続可能な地域を創ることを誓う

※2020年11月5日に開催された公益社団法人日本青年会議所
 第165回総会決議により改訂されました。

綱領

われわれJayceeは
 社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
 志を同じうする者相集い力を合わせ
 青年としての英知と勇気と情熱をもって
 明るい豊かな社会を築き上げよう

JC三信条

TRAINING(修練)
 地上最大の宝は個々の人格にあり
 SERVICE(奉仕)
 社会への奉仕は人生最大の仕事である
 FRIENDSHIP(友情)
 友情は国家主権に優先する

理事長挨拶



公益社団法人 名古屋青年会議所
第70代 理事長

光田 侑司

平素は公益社団法人名古屋青年会議所の活動につきまして、多大なるご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

名古屋青年会議所は、70年前の1950年にまだ戦災から癒えきっていない名古屋のまちを良くするために23名の青年によって設立され、以来、名古屋のまちのため、市民のために、まちに根ざした活動を続けてまいりました。

本年度、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により、名古屋青年会議所の活動も、当初の予定から大幅な変更を余儀なくされました。他方、WEB会議の急速な普及やリモートワークをはじめとした多様な働き方等、時代はまさに転換期を迎えています。

また、少子高齢化が叫ばれて久しく、我々青年世代の人口は減少の一途を辿っています。私たち青年会議所も、この時代に合わせたあり方を追求していかなければなりません。このまま公益社団法人として活動を続けていくべきなのか、現在の会員数は適正なのか、また定款・諸規程はどのように整備していくべきなのか。今後も持続的に名古屋のまちに貢献していくために、我々自身のあり方も見直していかなければなりません。

一方で、私たちは、決して歩みを止める訳にはいきません。大変な時代だからこそ、私たちがその役割を十分に果たしていかなければなりません。名古屋青年会議所の70年間の歩みを継承し、さらに運動を進化させていく礎とすべく、本誌を発刊させていただくこととなりました。本誌発刊に当たり、改めて先輩方が築き上げられてきたものに支えられて今の私たちがあるということを実感すると共に、感謝の思いを新たにしました次第です。

我々名古屋青年会議所は、持続可能な名古屋をつくるべく、これからもできっこないことに挑戦し続けます。皆様には、これまでと変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます、70周年記念誌発刊の御礼の挨拶とさせていただきます。

歴代理事長代表挨拶



歴代理事長代表
第21代 理事長

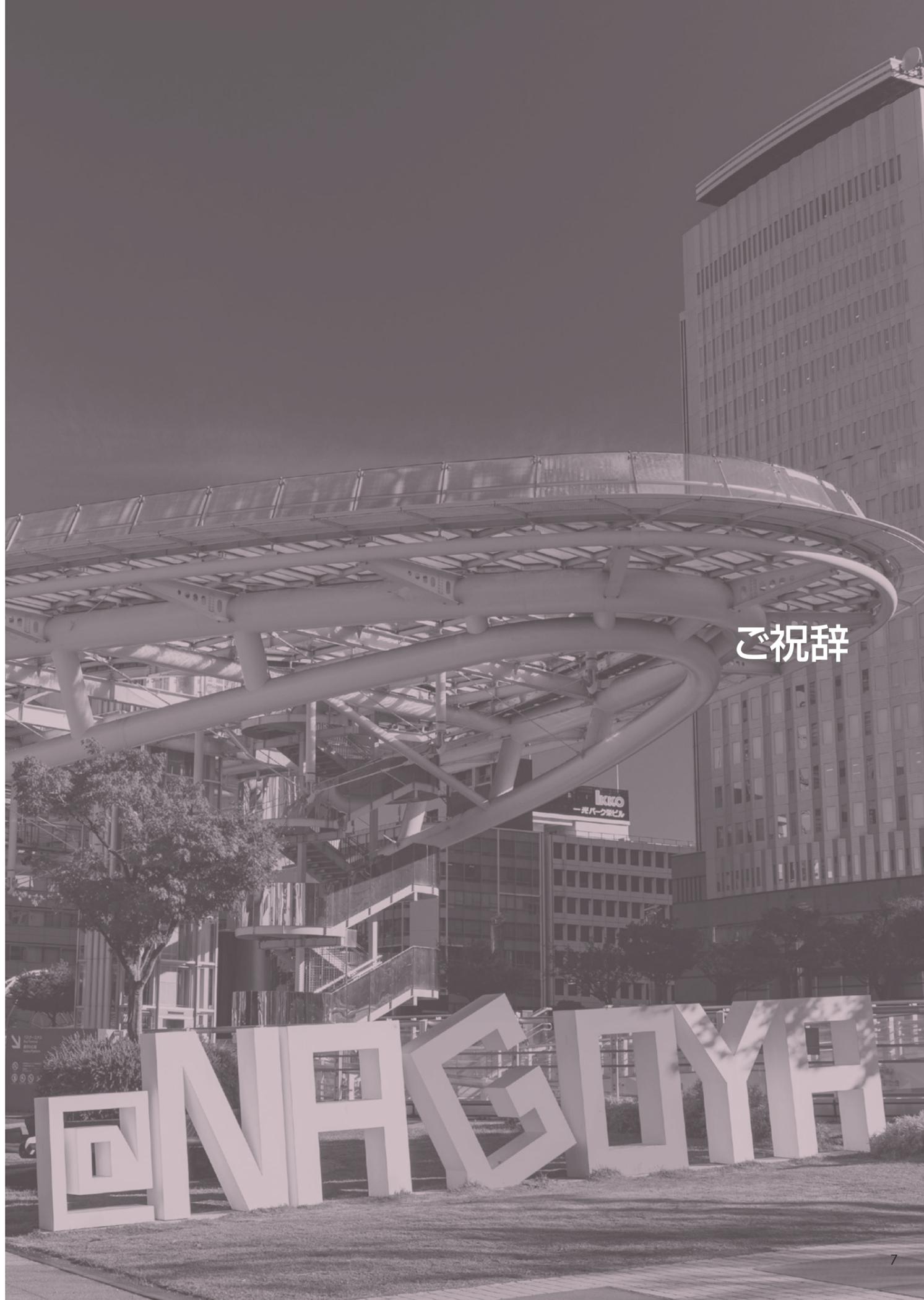
中北 智久

名古屋青年会議所は、終戦間もない1950年、初代大隈孝一理事長をはじめとする23名の青年によって設立されました。本年度、70周年という大きな節目を迎えることができたことを心から嬉しく思うと共に、名古屋青年会議所をお支えいただいております関係者の皆様に、改めて御礼申し上げます。

私たちが現役の際、初代大隈孝一理事長からは、「早熟な大人になる勿れ」と教えられました。また、「波紋を追いかけるのではなく、波紋を起こす一石を投じる活動を」とも教えられていました。当時の青年会議所活動は、どちらかという会員の自己成長という側面が強かったのですが、それだけではなかなか社会から認知されなかったことから、社会奉仕の側面を重視し始めた頃でもありました。

そのような青年会議所活動を通じて社会を客観的に見ることができた経験や、会員同士の交流を通じて知ることができた他の業界の動向等は、青年会議所を卒業した後も、自身の社業に活かすことができた実感しています。そして、青年会議所で知り合ったかけがえのない仲間たちとは、現在でも交流を続けています。

現役会員の皆様にも、青年会議所をしっかりと理解し活用して、自分自身の成長・社業の発展につなげていただければと思っております。名古屋青年会議所の活動が今後も持続的に発展し、名古屋のまちがより魅力あるものとなっていくことを心より祈念いたしますと共に、関係者の皆様には引き続きのご支援・ご協力をお願い申し上げます、歴代理事長としての挨拶に代えさせていただきます。



ご祝辞

ご祝辞



愛知県知事
大村 秀章

公益社団法人名古屋青年会議所が、設立70周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。名古屋青年会議所は、1950年の設立以来、70年の長きにわたり、「明るい豊かなまち」の実現を目指して自己研鑽及び多彩な活動に取り組まれ、ひとづくり・まちづくり運動の先駆者として、地域の活性化に大きな成果を上げてこられました。これもひとえに歴代役員並びに会員の皆様の御尽力の賜物と厚く感謝申し上げますとともに、深く敬意を表する次第です。

設立70周年の節目となった今年度は、「持続可能な名古屋をつくろう!!」のスローガンのもと、活動を展開されてこれたと伺っております。愛知県としても、本県最大の強みである「産業力」を生かしながら、経済・社会・環境のそれぞれの分野における調和のとれた地域の持続的成長を重要視しております。2019年7月には内閣府から「SDGs 未来都市」の選定を受け、2020年3月には「SDGs 政策パッケージ」を作成いたしました。同パッケージに掲げる2030年における愛知県のあるべき姿及びSDGsの達成に向けて政策を進めるため、「貧困をなくそう」や「産業や技術革新の基盤をつくろう」等の17のゴールを定め、地域一丸となって取り組んでおります。会員の皆様におかれましても、持続可能な名古屋、そして愛知の実現に向け、是非とも協働して取り組んでいただきたく存じます。

国内外の経済は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、現在大変厳しい状況ですが、引き続き、感染防止対策に取り組むとともに、愛知の産業力と人材力の強化、そして地域振興と雇用の安定に向け、全力を挙げて取り組んでまいります。

愛知県では、2022年秋のジブリパーク開業、2023年度のスタートアップ支援の中核拠点となる「ステーションAi」の開設、そして2026年のアジア競技大会の開催など、ビッグプロジェクトが控えております。これらをしっかりと前に進め、一つでも多くの明るい話題を提供し、日本を、そして世界を、ここ愛知から盛り上げてまいります。

会員の皆様には、地域を牽引する若きリーダーとして、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。最後に、名古屋青年会議所のますますの御発展と会員の皆様の御健勝、御活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



名古屋市長
河村 たかし

公益社団法人名古屋青年会議所の創立70周年、誠におめでとうございます。また、日頃より名古屋市政の各般にわたり格別のご支援とご協力をいただき、深く感謝します。

名古屋青年会議所は、1950年の創立以来、「明るい豊かな社会」の実現を目指して、政治・経済・社会・文化等に関する調査研究・フォーラムの実施や、社会奉仕事業及び青少年問題に関する事業等を通じて、当地域の発展に多大な貢献をされてきました。貴会議所と歴代の役員をはじめとする関係者の皆様方のたゆまぬご努力に対し、心から敬意を表します。

さて、貴会議所の今年度のスローガンは、「持続可能な名古屋をつくろう!!」だと伺っています。昨今の新型コロナウイルス感染症の影響下において、新しい生活様式への戸惑いや先の見えない不安がある中、本市としても、感染症対策と社会経済活動の両立を図りながら、当地域の持続的な発展を見据えた施策に全力で取り組んでまいり所存です。次世代のリーダーである貴会議所の皆様方においても、70周年を契機に、持続可能な名古屋の創造に向けて、より一層活躍されることを期待しています。

なお本市では、今年度、経済所管部門を見直し、イノベーションの創出や成長産業の振興などに機動的に取り組むため、経済局を新たに設置しました。また、本年7月には、名古屋・愛知及び浜松地域が国の「スタートアップ・エコシステムグローバル拠点都市」に認定されました。新型コロナウイルス感染症の影響を打破するためにも、新しい組織のもと、ナゴヤ圏域のものづくり産業と基礎研究の集積から生まれるディープテックを活かして、世界に通じる新たなイノベーションをこの地域から生み出すなど、産業の持続的な発展につながる施策を推進してまいりたいと考えていますので、関係者の皆様方には、今後とも、より一層のご理解、ご支援をよろしく願います。

貴会議所の今後ますますのご発展と、関係者の皆様方のご健勝ならびに一層のご活躍を心より祈念します。



名古屋商工会議所 会頭
山本 亜土

公益財団法人名古屋青年会議所が、創立70周年を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。コロナ禍において、多くの方々が不安を抱くなか、明るい未来の名古屋のために挑戦を続ける名古屋青年会議所の皆様方に深く敬意を表します。

名古屋青年会議所は、昭和25年8月、戦後間もない混乱期に、名古屋の再興・発展を目指し設立されて以来、70年に亘り、地域貢献につながる数多くの事業を進めてこられました。

光田理事長は、本年度の活動スローガンを「持続可能な名古屋を作ろう!!」とされ、少子化・高齢化が進む社会変化への対応や名古屋がより魅力的な街となるよう各種事業を展開されておられます。特に「人財」というキーワードのもと、外国人や女性、障がい者等、様々な人材の活用・育成はもとより交流人口の拡大を目指して活動されておられる姿は大変頼もしく感じます。

新型コロナウイルス感染症が、全世界で猛威を振るい、経済・社会・外交など、様々な面において大きな影響を及ぼしておりますが、未来の名古屋を担う若い皆様が、自己研鑽や修練に励まれつつ社会奉仕活動・地域貢献活動にも積極的に関わられ、次世代のリーダーとしての資質向上や相互の連帯感、友情を深められていることは大変心強く存じます。青年会議所の皆様方が、必ずやこれからの名古屋の活力の源になっていただけるものと期待しております。

最後に、名古屋青年会議所がこの創立70周年という大きな節目を契機といたしまして、今後さらなる発展を遂げられ、引き続き地域経済の一翼を担われますよう祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



公益社団法人 日本青年会議所
第69代会頭
石田 全史

この度、公益社団法人名古屋青年会議所が創立70周年の佳節を迎えられますことに、衷心よりお喜びを申し上げます。創立から今日に至るまでご尽力されてこられました先輩諸兄姉の皆様のご功績に敬意を表するとともに、その誇り高き「志」を受け継ぎ、自己の修練と社会への貢献に邁進されております、現役会員の皆様にお祝いを申し上げます。

70年前の設立当時の創始の精神から、これまでの歴史を振り返る。そして地域の明るい未来について考え、今起きている変化を起点に新しい社会を切り拓く節目となる年に、その灯を絶やさず青年会議所運動の展開に邁進されております皆様のご活動とご功績に敬意を表する次第でございます。目まぐるしく情勢が変わりゆく中だからこそ、社会に大きなインパクトをもたらす運動が、これからも全国各地で求められます。青年会議所にとって一つの転機である節目の年には、これまでの運動を検証した上で、共感をもたらす中・長期的なビジョンを描くことが必要であります。魅力あるビジョンはたくさんの若者に夢と希望を与え、誰からも求められる魅力ある組織へと進化することができます。私たちの運動の成果を最大限に発揮するとともに、あらゆる運動において多くの共感を集めることが組織の拡大につながり、より盤石な組織体制を構築することができるのです。

挑戦する前から無理だと決めつける、そのような先入観は捨て、大きな夢を語り、仲間を集めて、共に未来を創りましょう。自分の信じた道を貫くことが「真実一路」であり、奇跡とは努力と挑戦の連続の先に起きる成果であります。我々は、必ずより良い変化を起こすことができるのです。

結びに、名古屋青年会議所のますますのご発展と会員の皆様のご活躍、さらには皆様の運動が、愛する地域において素晴らしい成果が発揮されますことを心より祈念申し上げます。

真実一路 軌跡を紡ぎ、奇跡を起こそう!

ご祝辞



公益社団法人日本青年会議所
東海地区協議会
2020年度会長
鳴海 宏樹

公益社団法人名古屋青年会議所が本年度で創立 70 周年を迎えられましたこと、東海地区協議会を代表して心よりお慶び申し上げます。戦後間も無い 1950 年に全国で 6 番目の会員会議所として設立され、70 年という長きにわたり「明るい豊かな社会」の実現に向けて、貴青年会議所が紡いでこられた歴史とご功績、先輩諸氏から連綿と受け継いでこられた高い志に深く敬意を表します。

貴青年会議所におかれましては、節目となります本年度、世界を震撼させる COVID-19 の感染拡大の影響により、これまでとは大きく異なる青年会議所活動に強いられているとは存じますが、そのような中でも光田侑司理事長の下、「持続可能な名古屋をつくろう!!」をスローガンとして掲げ、様々な趣向を凝らし、力強く運動を発信されていることに敬意を表します。また現況にも屈せず、素晴らしい創立 70 周年記念式典を開催されたことは、全国各地の青年会議所に勇気を与え、時代の先駆者としての姿を示されたと感じております。

今後も社会へ大きなインパクトを与え、市民への意識変革をもたらす、「明るい豊かな社会」を実現すべくさらなる運動を展開されることをご期待申し上げます。周年とは、創立の志に立ち返り、次代の運動指針を打ち出す絶好の機会ではありますが、70 年という長きに亘り歴史と伝統を紡いでこられた皆様であれば、必ずや新たな時代を切り拓き、素晴らしい成果を残すことが出来ると確信しております。

結びに、創立 70 周年を契機に持続可能な名古屋の実現に向けて、貴青年会議所の益々のご発展と先輩諸氏、並びに現役会員の皆様の益々のご活躍をご祈念申し上げましてお祝いの言葉といたします。

新たな時代へ向け、共に歩んでまいりましょう。



公益社団法人日本青年会議所
東海地区 愛知ブロック協議会
2020年度会長
曾根 香奈子

この度、公益社団法人名古屋青年会議所が創立 70 周年の節目を迎えられますことを、愛知ブロック協議会二千余名の会員と共に心からお慶び申し上げます。平素より愛知ブロック協議会の運動に対し、格別のご理解とご協力をいただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

まずもって、終戦間もない 1950 年 8 月の設立以来、「明るい豊かな社会」の実現に向けて、名古屋の地に根ざした活動を実践し、輝かしい功績を積み重ねてこられた歴代理事長をはじめとする先輩諸兄並びに会員の皆様のご尽力に深く敬意を表します。設立当初は 23 名だったメンバーも現在は 788 名となり、愛知ブロック協議会はもちろん、全国においても大きな存在感を示すと共に、リーディング LOM としての役割や責務を全うし、JC 運動を力強く牽引していただいておりますことにつきましても重ねて敬意を表します。

設立から 70 年を迎える本年度、光田侑司理事長の掲げる『持続可能な名古屋をつくろう!!』というスローガンの下、経済・人財・国際という 3 つの要素を軸に、少子化とそれに伴う超高齢化社会の到来に伴って生じる様々な問題や課題に対して、臆することなく当事者意識をもって立ち向かい、このコロナ禍においても、WEB 等を活用し、途切れることなく効果的な JC 運動を展開していただいておりますこと、心からの敬意を表します。また、これらの運動は、JC 以外とのパートナーとの経済・人財・国際という多面的かつ横断的な連携により、より進化した JC 運動となっております。これらは、光田理事長の力強いリーダーシップと卓越した組織力の賜物であると、深く感銘を受けております。

そして、これらの素晴らしい運動の数々が、我々の祖父母世代、そして親世代がしてくれたように、未来の子供たちのために、これから数十年先の持続可能な名古屋の発展の礎になることを確信しております。

結びに、創立 70 周年を契機とし、10 年後、その先の未来に向けて、貴青年会議所と会員の皆様が、より一層の飛躍を遂げられますことを心よりご祈念致しまして御祝のご挨拶とさせていただきます。

歴代理事長総覧

第1年度（1950～51）



理事長 大隈 孝一

専務理事 磯部 謙一
監理事 高橋 守彦 竹中 泰弘 八代健三郎
理事 青木 賢三 樋田 耕平 井元 啓太 上遠野達三郎 神野 三男 中村 達郎 竹田 吉男
 富田 孝 遠山 孝三

■**主要事業** 1950年8月1日の夕刻、名古屋の青年経済人23名が固唾をのんで見守る中、創立総会をもって名古屋青年会議所は誕生しました。

名古屋は、日本で初めて青年経済人の集まりが結成された土地柄です。昭和10年に誕生した「Nagoya Junior Chamber of Commerce」がそれで、戦後は財界の親睦団体「若葉会」として発展的解消を遂げていました。戦後5年が経ったこの年、日本並びに名古屋経済の建設と復

興に向けて再び青年経済人たちが手を挙げたのでした。

名古屋商工会議所会頭の伊藤次郎左衛門氏より提案を受けた大隈孝一氏ら5名が発起人となり、17名の会員の参加を得て創立されました。

東京・大阪の大経済圏をはじめ各地でJC創立の動きが活発化するなど、青年経済人たちの前向きな姿勢が新しい時代の到来を予感させたこの年。初年度は1年足らずではあったものの、日本全国、世界へと友好の輪を広げた劇的な1年でした。

第2年度（1951～52）



理事長 神野 三男

専務理事 磯部 謙一
監理事 春田 正策 盛田 和昭 杉浦 勝一
理事 安藤 壽彦 青木 賢三 樋田 耕平 井元 啓太 兼松 昭二 大隈 孝一 釈 治
 白木 信平 竹中 泰弘 富田 孝 八代健三郎

■**主要事業** 1950年に勃発した朝鮮動乱は1951年に入って急速に終結、2年目を迎えた名古屋JCは「奉仕」に重点を置き、名古屋の発展につくすための事業に積極的に取り組んでいきました。

戦争の傷跡が生々しく感じられていました。そうした“ふるさと・名古屋”のまちに大々的に美化キャンペーンを提唱、市民からも惜しみない協力が寄せられて大きな運動に発展しました。

10月24日には名古屋市公会堂に市民を招待して、運動の趣旨を

PR。この時の神野理事長のスピーチはラジオで全国放送されました。そして11月3日には、たくさんの市民の参加を得て、名古屋で戦後初となるモーターパレードを実施しました。

1950年に名古屋JCが創設されたのと同時期に、東海地域にも次々とJCが誕生していきました。1951年末までに浜松、岐阜、一宮、豊橋に誕生し、これを受けて11月11日、東海地区青年会議所の第1回懇談会が名古屋商工会議所で開催されました。

第3年度（1952～53）



理事長 青木 賢三

専務理事 磯部 謙一
監理事 樋田 耕平 白木 信平
理事 荒川宗三郎 井元 啓太 川岡 武彦 小島鎌次郎 三輪 隆康 鈴木 英一 寺沢 栄一
 遠山 孝三 豊田幸吉郎

■**主要事業** 名古屋にも空の玄関となる名古屋空港が1952年3月に開港するなど、国際社会復帰と経済発展へ新たな一歩を踏み出しました。

5月メーデーではデモ隊と警官隊が皇居前で激突。産業を見れば、今後の発展に対して決定的に電力が不足していました。

名古屋JCでは前年度に引続き電力委員会を設置し、電力会社や行政に広く提言活動を行いました。安定して供給される環境づくりをめざして、たゆまぬ努力がなされました。

1953年4月、モンテンルパ収容所を慰問しました。戦犯として投獄されている愛知・岐阜・三重出身者6名のもとへ留守宅家族の声の便りなどを届けました。まだ国交のなかったフィリピンと日本の間に、JCの機構を通じて交流の一端がつながりました。

日本JCの副会頭も務めていた青木理事長が、全国会員の親睦会開催を提唱、その第1回全国会員大会の主管を名古屋JCが務めることになりました。

第4年度（1953～54）



理事長 豊田幸吉郎

監理事 竹中 康浩 川岡 武彦
理事 荒川宗三郎 伴 充弘 八代健三郎 横井英太郎
 服部 英一 中部政次郎 杉浦 勝一 角 嘉久次 鈴木 英一

■**主要事業** 前年度に日本JCで決定された「第1回全国会員大会」の名古屋開催を成功に導くために実行委員会を組織し、全力を挙げて取り組むことになりました。特に、運営方法は白紙の状態で名古屋JCに委任されており、次の3原則を提示しました。(1)参加は会員個人の資格でなされること。(2)自由討論形式で、JCメンバーが意見を発表したり、JC活動を報告できるようにすること。(3)華美に流れず、青年らしく知的な内容の大会にする。

こうして11月7日、第1回全国大会を迎え、メイン会場の名古屋商工会議所に各地30JC、会員155名が集まりました。

開会式に続いて全員が5分間スピーチで自己紹介、JCの活動状況や今後の運動の方針を報告し合い、意見交換会を行いました。

当時は加入会議所53、会員総数2512名。第1回全国会員大会を記念して、名古屋駅から桜通りに参加者全員で500本ものプラタナスを植樹しました。

第5年度（1954～55）



理事長 八代健三郎

副理事長 荒川宗三郎
監理事 中部政次郎 杉浦 勝一
理事 安藤 壽彦 伴 充弘 竹中 康浩 塚原 文平
 服部 英一 井元 啓太 蟹江 一忠 白木 信平 釈 治

■**主要事業** 1954年6月19日、名古屋テレビ塔が完成しました。高さ180mもあって当時としては日本一の高さの建物です。“名古屋のシンボル”を目の前にした5年度のメンバーたちは、日本そして名古屋を愛する気持ちを素朴に表現する機会をつくろうと日章旗掲揚運動を展開しました。

西ドイツのフランクフルトJCと協力し、児童画を交換して互いの国を理解し合うための展覧会を開く計画がスタート。締め切り日には618点

もの応募がありました。優秀作品60点が、フランクフルトへ送られました。子供たちの心がこもった絵画は、西ドイツ各地で展覧され、日独の国際親善に大きく貢献。

祝日に日の丸を掲げる家はまだ少なかったため、日章旗掲揚運動が展開されました。1955年4月28日、大きな日章旗が、テレビ塔に掲げられ、名古屋の空高く翻りました。テレビ塔が日本一なら、日章旗も6m×4.5mといわゆる十畳敷きの巨大さです。

第6年度（1955～56）



理事長 荒川宗三郎

副理事長 竹中 康浩
監理事 服部 英一 盛田 慶吉 八代健三郎
理事 安藤 壽彦 伊藤 寛 兼松 昭二 前田 直純 盛田 和昭 内藤 明人 中部政次郎
 白木 信平 角 嘉久次 鈴木 英一

■**主要事業** 前年度に企画した「日独児童画展」は、西ドイツ各地で大きな反響がありました。いよいよ日本でも、西ドイツ(当時)の子供たちの絵画を一堂に集めての親善展覧会が行われます。1955年12月10日から5日間の会期で開かれた展覧会には多くの市民が訪れました。

さて、JC年度が変更されて単年度1月～12月となったため、6年度は1年6か月の活動となりました。年度はじめに「奉仕」を活動のポイントに置くことが確認されました。

交通安全を願って伏見交差点に信号機の設置、名古屋駅前にプラタナス植樹、授産所慰問、さらにフィリピンJCとの親善交歓、戦火の南ベトナムへの医療団派遣など、とても1年半でこなしとは思えないほど精力的な活動です。

なお、資金集めの一助にと例会会場に「ニコボックス」が置かれたのもこの頃です。会員の早退・遅刻・慶事などの時に、自ら進んで“ニコリ笑って寄金箱に入れる”という制度。メンバーたちのさまざまな楽しい思い出を刻みながら、昭和30年代後半まで続きました。

第7年度 (1957)



理事長 白木 信平

■**主要事業** 1957年最大の課題は、何と言ってもJCI世界会議が東京で開催されたことです。日本の青年は戦中、戦後を通じ15年以上の間、世界との交流がありませんでした。89か国が加盟し、35万のメンバーの青年団体JCIの世界会議が日本で開催されることは画期的な意義があったのです。

各国のJCIがリーダーシップトレーニングを極めて重視しており、カナダの代表から「How to lead the Conference」というテキストを入手

副理事長 服部 英一
 監事 安藤 壽彦 前田 直純 内藤 明人
 理事 阿部 鋼一 広瀬 隆 伊藤 栄一 小島鎌次郎 三輪 隆康 盛田 家弘 小栗 稔也
 積 治 杉浦 勝一 鈴木靖一郎

し、翌年日本JCIにLT委員会を創設。当初委員長に任命された折にも随分役立ちました。

オーストラリアのニューカッスルJCIから相談を受け、ペンフレンド交換の橋渡しをする事業が行われました。

緊急対策が必要となってきた交通事故防止に対して、名古屋JCではサービス委員会が中心となって、交通安全映画を製作することになりました。交通安全道徳の欠如による事故をなくすことが目的です。

第8年度 (1958)



理事長 中部政次郎

■**主要事業** 今年度は、国際的な活動を行うと共に、内部の充実を図るための事業が進められました。

内部の改革としては、年齢制限を正式に40歳までと定め、副理事長を1名から3名以内と増員することで体制の強化を図りました。さらに会員が安定して活動に参加できるよう、会員の経営意識の向上をめざした経営セミナーを開催することになりました。

JCIAアジア地域会議の席上、名古屋JCは栄えある優秀ローカルJC賞

副理事長 安藤 壽彦
 監事 服部 英一 高木 武彦
 理事 阿部 鋼一 小島鎌次郎 前田 直純 盛田 家弘 内藤 明人 榊 由信 沢田 裕之
 新森 昭男 積 治 角 嘉久次 鈴木 正治 鈴木靖一郎 塚原 文平

を受賞しました。日本JCの創立メンバーとして積極的に推進した拡大運動・ローカル活動・国際親善事業が評価されたもので、これが国際会議での初受賞となりました。さらに11月16日～22日にアメリカ・ミネアポリスで行われた世界会議には国際舞台での名古屋メンバーの活躍は目立っていたらしく、中部理事長にミネアポリス市の名誉市民が与えられるというエピソードもありました。

第9年度 (1959)



理事長 盛田 慶吉

■**主要事業** 名古屋市とロサンゼルス姉妹都市提携、日本JC副会頭に白木信平元理事長が就任など、非常に明るい話題でスタートした9年度でしたが、伊勢湾台風で死者5,000人に達するという、明治以降の日本で最大の台風災害となりました。会員全員が被災者でした。

後半は被災者への支援が中心となりましたが、その他にもさまざまな社会奉仕活動を行いました。皇太子殿下ご成婚の記念植樹、青少年不良化防止を願った標語入りの時計塔設置、名古屋城へのくすくすご寄贈、大日章旗

副理事長 内藤 明人 積 治
 監事 安藤 壽彦 中部政次郎 角 嘉久次
 理事 伴 充弘 兼松 昭二 蟹江 一忠 小島鎌次郎 国枝 寅雄 前田 直純 佐橋弘一郎
 新森 昭男 杉浦 勝一 鈴木 正治 鈴木靖一郎 吉村 太郎

の新調などがそれです。

東海地区協議会の下に愛知県協議会(現愛知ブロック協議会)が結成されたのもこの年です。

9年度の経営セミナーはリーダーシップトレーニング委員会が企画し、運営しました。年度の初めに会員にアンケートをとり、関心の高い話題を中心に組んだプログラムです。その内容は、1位／賃金の決め方と退職金、2位／経営の継承について、3位／貸借対照表・損益計算書の見方など。

第10年度 (1960)



理事長 服部 英一

■**主要事業** 政治の激動期を迎えた1960年。1月19日の日米新安全保障条約の調印、6月10日の八かチー事件、国会デモは連日のように起こり、子どもたちの間で「デモごっこ」遊びが流行するほどでした。

このような不安定な社会情勢の中で10周年を迎えた名古屋JCは、改めて「精神的実践的な民主社会の建設者の集まり」であることを確認し、1年間を行動三原則にのっとりて事業を展開することとしました。

この年は、なんとといっても華やかに挙行された10周年記念事業が目

副理事長 内藤 明人 杉浦 勝一
 監事 盛田 家弘 佐橋弘一郎 積 治
 理事 伴 充弘 伏原幹一郎 蟹江 一忠 小島鎌次郎 前田 直純 岡本 英造 鈴木 正治
 鈴木 忠源 田中 一徹 上田 耕三 山崎 照彦 吉村 太郎

を引きます。子どもたちの交通安全を願った「安全通学よい子のつどい」では、メンバー自らプラカードを持って、子どもたちと一緒に街頭をパレードしました。

また、8月1日に行われた記念式典には来賓の他300余名が参加し、この席で名古屋市長に「大地球儀」建造の目録が進呈されました。これは、「名古屋の少年少女がすこやかでたくましい精神を養い、国際的な視野を広めてほしい」という願いを込めて寄贈するものです。

第11年度 (1961)



理事長 安藤 壽彦

■**主要事業** 第2次池田内閣がスタートした1961年の日本は、生活水準の高まりによって高度成長時代を迎えていました。このような経済・社会情勢を背景に、「新しい10年の歴史を刻む第1歩の年となる」ことを踏まえて、内部充実と組織強化の2点を挙げ、強力に推し進めました。

方策として創設されたのが経済活動委員会と会員訓練委員会です。

会員相互の融和と理解、先輩である特別会員との交流を一人ひとりが自由な立場で学習するグループです。働く人々の考え方を調査したり特別会

副理事長 前田 直純 中部政次郎 鈴木 正治
 監事 服部 英一 内藤 明人 杉浦 勝一
 理事 伴 充弘 小島鎌次郎 中北 智久 永井 譲 沢田 裕之 新森 昭男 白木 信平
 積 治 鈴木靖一郎 鈴木 忠源 吉村 太郎

員の会社や家族を訪問し、時間をかけて貴重な意見や体験を学びとりました。

日本JCの標準定款を採用したのもこの年度です。会費納入期限の設置や直前理事長の採用、総会の定員数など、名古屋JCにふさわしい規約を残しつつも日本JC運動の流れに沿うように改正されました。

会員たちは10グループに分かれ、先輩である特別会員の会社や家庭をそれぞれ月1回ずつ訪問し、1年にわたってJC活動の精神を学びました。

第12年度 (1962)



理事長 内藤 明人

■**主要事業** 内部の充実に努めた前年度をさらに昇華させるべく、12年度は外部に積極的に働きかける事業を多く展開しました。

名古屋市の発展の方向づけを探求した試みです。今年度のメインテーマを「10年後の名古屋」とし、経済活動委員会が担当委員会となって調査提言活動を行ったのです。

社会の公器としてすぐれた事業を推進していくことを目的として活動を展開してきましたが、10月26日、いよいよ社団法人名古屋青年会議

直前理事長 安藤 壽彦
 副理事長 小島鎌次郎 吉村 太郎 鈴木 忠源
 監事 白木 信平 前田 直純 鈴木 正治
 理事 高木 武彦 林 永治郎 岡本 英造 伏原順一郎 伴 充弘 塩野 要 田中 一徹
 榊 明 兼松 昭二 伊藤次郎左衛門 国枝 寅雄 今井 亮次 小栗 稔也 永井 譲
 盛田 家弘 杉浦 勝一

所設立総会が開催されることになりました。東京、大阪に次いで全国3番目の社団法人格の取得となりました。

社会改良委員会が中心となって都市美化運動を推進し、市教育委員会の協力を得て小学生15万人に、「みんなのまちです。ようこそ!」と書かれた誓いのしおりを配布しました。学校での美化運動の普及度を調査するためにアンケートを実施。学校の適切な指導のもとで着々と子どもたちの美化意識が育っていることが分かりました。

第13年度 (1963)



理事長 鈴木 正治

■**主要事業** 高度経済成長路線を突き進む日本。東京オリンピックを翌年に控えた東京では都市高速道路や競技場建設が進み、都市景観は大きく様変わりしていきました。

こうした中、13年度では精神面を重視した活動方針を決定し、会員一丸となって地域社会づくりに邁進しました。その方針とは、「JCI理念の再把握」「組織の強化」「国際的視野の養成」「温かい心を地域社会に」「精神面のバックボーンの探求」の5つです。

直前理事長	内藤 明人																			
副理事長	小栗 稔也	沢田 裕之	鈴木靖一郎																	
監理事	小島鍬次郎	鈴木 忠源	吉村 太郎																	
理事	塩野 要	中北 智久	富田 和夫	国枝 寅雄	後藤 敏男	伏原順一郎	滝上 賢一													
	伊藤次郎左衛門	天野 源博	岡本 英造	森村 和正	高木 武彦	川瀬 雄司	安藤 壽彦													
	林 永治郎	前田 直純	枳 治	白木 信平																

名古屋JCIの草創期から地道に取り組んできた地域の美化運動。13年度から始まったJCデー統一事業において、名古屋JCIでは都市美化をテーマに選んで9月3日、杉戸清名古屋市長を招いて座談会を開きました。

JCI活動が高く評価されるにつれて大きな団体へと成長し、それに伴ってローカルJCIと日本JCIとのコミュニケーションが悪化する懸念が生じてきました。

第14年度 (1964)



理事長 小島鍬次郎

■**主要事業** 14年度はアジアで初めてのオリンピックが東京で行われる年であり、外国からの観光客が名古屋を訪れることも予想されることから、総合的な美化運動を展開しました。

この事業には社会改良委員会が中心になって計画を練り、名古屋市やCBC放送の協力を得て、メンバー全員が参加して取り組みました。キャンペーンテーマは「みんなで町を美しく」です。テレビ番組を使ってスポットキャンペーンの放送、公共意識を高めるためにポリ袋配布、花と

直前理事長	鈴木 正治																			
副理事長	富田 和夫	伊藤次郎左衛門	国枝 寅雄																	
監理事	安藤 壽彦	内藤 明人	鈴木靖一郎																	
理事	森村 和正	今井 亮次	青島 邦夫	天野 道造	林 純蔵	斎藤鍵太郎	林 光雄													
	森田 和彦	加藤 嘉紀	水野 金平	永井 譲	志水 正弘	中北 智久	久世 武志													
	服部 英一	吉村 太郎																		

緑で町を飾る花いっぱい運動、そして市民清掃デーに決められた4月15日には、メンバー自身が率先し、ほうきを持って名古屋駅前を早朝から清掃しました。このような活動は市民に大きな共感を与えました。

都市美化運動の一環として植樹と花いっぱい運動を展開しました。5月15日にメインストリートで「花のパレード」を実施、6月1日には名古屋テレビ塔周辺で、花の種をつけた色とりどりの風船を青空に放ちました。

第15年度 (1965)



理事長 吉村 太郎

■**主要事業** 右肩上がりの発展を続けてきた日本の経済基調は、ここへきて安定の方向に向かい始めました。

そうした社会情勢の中、創立15周年を迎えた名古屋JCIでは、「JCIの基本理念の再確認」「JAYCEEらしく行動しよう」「公共精神の高揚」「JCI活動は全員の手で」「国際的視野を身につけよう」の5項目を基本行動方針に掲げ、事業を展開していきました。

企業の社会性の意識調査、毎月の事業会社訪問による実施調査、有

直前理事長	小島鍬次郎																			
副理事長	森村 和正	加藤 嘉紀	中北 智久																	
監理事	安藤 壽彦	伊藤次郎左衛門	国枝 寅雄																	
無任所理事	富田 和夫																			
理事	今井 亮次	井上 文夫	池山 辰己	角 富之助	荒川 卓治	堀田 逞二	久世 武志													
	辻 幸広	水野 金平	杉本 邦彦	伏原 靖二	井上 雅之	林 光雄	佐橋弘一郎													
	内藤 明人	服部 英一	志水 正弘																	

名人色紙展から得た収益金で車椅子を名古屋市に寄贈するなど、数々のすばらしい功績をあげました。

15周年を記念する式典は多数の来賓を迎えて盛大に挙行されました。主張を掲げて猪突猛進するよりも、一人でも多くの仲間と一緒に、全国的なネットワークを生かしながら運動を進めていこう—JAYCEEの精神をいまいちど振り返り、かみしめて、派手でなくとも確実な奉仕活動を行った1年でした。

第16年度 (1966)



理事長 富田 和夫

■**主要事業** 1966年、時代は、後になって経済の高度成長期と呼ばれる段階に入っていました。この年度のJCIは創立の精神を受け継ぐと共に、運動の志向を従来からの奉仕活動から経済問題に移し、青年経営者の集う経済団体としてのJCIをめざすことにしました。

年間を通す思想として「誇りある日本人としての社会連帯感」を掲げ、それにかかる諸問題を取り上げました。戦後もすでに20年、私たちは新時代を構築するに足る新しい価値観を探りたいと考え、再び日本人とし

直前理事長	吉村 太郎																			
副理事長	青島 邦夫	永井 譲	天野 源博																	
監理事	服部 英一	安藤 壽彦	伊藤次郎左衛門																	
無任所理事	加藤 嘉紀	林 光雄																		
理事	林 純蔵	広瀬 隆	伊藤 鑛一	天野 道造	網島 彰	岩田 孝	池山 辰己													
	堀田 逞二	田中丸福男	首藤 康文	大脇 錠一	久留宮欽人	水野 金平	川村 梯式													
	伏原 靖二	立木 秀明																		

ての誇りを持ち、その連帯意識を強めたいと考えたのです。

年間を通し運動の助言者として、当時の日本経済新聞の論説委員長・武山泰雄氏を迎えました。同氏は新年の定時総会、2月並びに10月の例会で「日本経済の進路及びその対応」について講演されました。

この年成立した中部圏開発整備法にちなみ、市長レベルの初会合として中部9県下の市長座談会を主催しました。席上九鬼四日市市長が初めて公害問題を取り上げるなど、貴重な論議に富む大会となりました。

第17年度 (1967)



理事長 伊藤次郎左衛門

■**主要事業** 17年度は、中部圏の開発整備におけるさまざまな問題や課題を研究・討議し、一般の人々の視点から豊かな中部をつくろうと活発に事業を展開した1年でした。

その中心となったのがキャラバン隊の派遣です。中部圏内のJCIの所在地である各市を訪問し、JCIの友人たちと共に地域問題や中部づくりを話し合おうという壮大な試み。45JCIの友人たちと語り終えました。

その一方で2月・4月・9月と3回にわたって講演会やパネルディスカッショ

直前理事長	富田 和夫																			
副理事長	今井 亮次	田中丸福男	林 純蔵																	
監理事	青島 邦夫	小島鍬次郎	国枝 寅雄																	
無任所理事	天野 道造																			
理事	斎藤鍵太郎	塩内 長俊	杉野峯一郎	伊藤 鑛一	伊藤 泰弘	近藤 徹	伏原 靖二													
	井上 雅之	首藤 康文	木村 茂	久留宮欽人	長谷川真弘	神谷 信清	堀田 逞二													
	柏木 順彦	網島 彰	尾関 武弘	鈴木 勝義																

ンを開催し、広域的かつ長期的な視点から地域づくりを学びました。「中部圏内青年会議所合同例会」は、これら事業の集大成と言えます。多数の来賓を迎え、参加JCIは38にもなりました。募集した論文の入賞者2名の表彰式をはじめ、第2部の討論会ではJCIの面々が若さあふれる意見を闘わせました。

このような地域に密着しつつ地域の未来を考える一連の活動は幅広い支持を集め、日本JCI経済活動優秀賞・JCI最優秀LOM賞（ニュージージーランド賞）を受賞しました。

第18年度 (1968)



理事長 国枝 寅雄

■**主要事業** “明治100年”を迎えた1968年の日本は、世界第3位の驚くべき経済発展、いざなぎ景気の到来、その一方で労働力の逼迫や物価値上がりなどが発生し、不安定で多様な経済状況が現れていました。全国に広がる公害対策が急務の課題となりました。

バランスを失ったかに思える社会に対して、良識ある社会人としての役割をきっちり果たしていこうとエネルギーに活動しました。

働く青少年のためのJCI文庫の創設は、その特徴的な事業と言えます

す。愛知県内16のJCIに地道に協力を求めて、愛知青少年協会にたくさんのお書を寄贈したのです。

このような活動を内外に伝えるのがJCIニュースですが、札幌で行われた全国大会で見事に最優秀広報誌賞を受賞しました。18年度のスローガンである「最適社会の建設」を踏まえた編集方針が高く評価された結果です。また、JCI世界会議（アルゼンチン・マルデルプラタ）にも出品されてJCIワールド広報誌最優秀賞受賞という、ダブルの栄誉に輝きました。

第25年度 (1975)



理事長 木村 茂

直前理事長	田口義嘉壽	鈴木 勝義	山口 直樹	小林武千代(丈絃)
副理事長	高村 博三			
専務理事	森 博一			
監事	久留宮歆人	川村 敏雄	柏木 順彦	
常任理事	高岡 次郎	青山 良雄	松岡 浩一	伊藤 善朗 鶴田 欣也 浜田 武 細野 恭弘
	吉田 春樹	川村 悌式		
無任所理事	杉野峯一郎	広瀬 武	春日 文明	
理事	田嶋 好博	高村 武彦	平野鉄二郎	西村 光雄 神谷 弥甫 高桑 秀幸 丹羽 一征
	杉本 仁至	野寄東太郎	古川 爲之	白木 喬 早川 和夫 宮下幸二郎 早川 東助
	杉山 恭彦	長谷川林平	青木 泰樹	佐藤 善乙 坂 誠 大河内正雄 村瀬雄一郎

■**主要事業** 政治意識への高まりが社会全体に広がった時期に遭遇した25年度は、会員に自主的な政治参加を呼びかける一方で、創立25周年記念事業プロジェクトに邁進した1年となりました。

記念式典と前夜祭の開催、記念誌「若い樹はさらに」発刊、タイムカプセルの制作、JCデー統一事業、経営開発シンポジウムなどです。

記念式典は4月6日愛知県文化講堂で、地元官財界人や韓国・フィリピンJC代表ら約1,300名が参加して盛大に挙行されました。席上、記

念誌の発刊式とタイムカプセルの贈呈式がありました。そのタイムカプセルは直径79cm重さ360kgで、2000年の名古屋JC50周年に開封されることを誓い、8月31日に科学館前に埋設しました。

記念事業の一環として行われたJCデー統一事業では「教育」を取り上げ、父親不在などPTA問題などをテーマに区民集会を開いたり、8月30日には「日本の教育の課題」をテーマに永井道雄氏、中村メイコ氏らを講師に迎えて討論会を開きました。

第26年度 (1976)



理事長 川村 悌式

直前理事長	木村 茂	加藤 千磨	安藤 龍彦	松岡 浩一
副理事長	大島 清(規仔志・喜十郎)			
専務理事	杉本 仁至			
監事	久留宮歆人	杉野峯一郎	南館 欣也	
特別顧問	田口義嘉壽			
無任所常任理事	広瀬 武			
常任理事	町田 重夫	田嶋 好博	春日 文明	坂 誠 岡田 克己 早川 和夫 伊藤 政弘
	古川 爲之	千田 毅	野寄東太郎	鈴木 勝義 村瀬雄一郎
無任所理事	西村 嘉絃	柏木 順彦	長谷川林平	
理事	井高 博	水野 義夫	武田 和久	稲川 守彦 諏訪 光之 原 勝彦 鬼頭 康之
	加藤 寿彦	飯田 隆	野崎 博	樫木 正雄 竹田 光宏 水谷 鎮夫 青山 孝雄
	中村 守人	井原 康成	堀田 明利	保浦 文郎 長谷川 武 丹羽 一之 安藤 重良
	大原 康之	大河内健二	沢井 孝郎	江口 太郎 小川 克己

■**主要事業** 1976年は名古屋JCにとっては、25年の歴史に次の四半世紀を積み上げるための記念すべき第1歩を記す年です。

活動にあたって、3つの事業方針と4つ運営方針が立てられました。〈事業方針〉「低成長経済下における企業社会の存立と繁栄を守るために自由主義経済体制の基盤を再確認しよう」「国際緊張下における連帯意識と国家の自立性のあり方を考え、今後の政治理念の確立に積極的に参画しよう」「青少年問題を通じて教育と文化の指向性を探り、あわせて日本の将来への展望を開こう」の3点と、〈運営方針〉

「良き市民、良き企業人になるための訓練を」「組織の分割化と効率的な運営への配慮を」「会員数の拡大」「社会と企業に、より信頼されるJC運動」の4点です。

社会的危機の本質を探ろうとした2月例会、日本の伝統文化を見直して未来を探る3月例会、ヨーロッパ型経営を洞察する4月例会など、いずれのテーマも本年の社会情勢を端的に表しています。とりわけスト権ストに関するパネルディスカッションが行われた10月例会は、名古屋JCが政治問題に積極的に足を踏み入れた記録に残る出来事でした。

第27年度 (1977)



理事長 加藤 千磨

直前理事長	川村 悌式	岡田 克己	古川 爲之	伊藤 善朗
副理事長	野寄東太郎			
専務理事	町田 重夫			
監事	木村 茂	小林 一光	大隈 園彦	
特別顧問	田口義嘉壽			
無任所常任理事	柏木 順彦			
常任理事	稲川 守彦	鬼頭 康之	飯田 隆	佐藤 善乙 長谷川 武 杉山 恭彦 大原 康之
	水谷 鎮夫	待井 雄介	村瀬雄一郎	杉本 仁至 杉浦日出夫
無任所理事	小林 丈絃	広瀬 武		
理事	春日 文明	西村 嘉絃	鶴飼 治昭	横山 昇 鈴木 重光 伊藤 雅隆 近藤 正典
	松田 紀興	水野 義雄	西村 光雄	牧ヶ野義雄 武部 宏 真野 清 川村 康夫
	吉田 大士	加藤 隆雄	加知 武司	小山 慎介 吉田 安広 久郷 省三 国分 孝雄
	金森徳三郎	山田 隆雄		
	牧野 昌司	安井 隆豊		

■**主要事業** 経済環境・社会環境共に非常に厳しく、会員のバックボーンである企業経営への不安も渦巻いた1年でした。そのためJC運動を安定して推進していくためにも自己基盤の確立が急務となり、次の4つを重点に推進することとしました。

それは「JC運動を通じて一人ひとりが自分自身の企業活動を考え、自律した強い個人になるべく役割を認識すること」「同志的連帯感の再認識をすること」「健全な地域社会の確立へ努力、そのために自治意識

の高揚運動に取り組む」「明日の名古屋のコミュニティづくりを考える社会開発運動の推進」です。

中でも「新しい経済秩序の確立と明日への繁栄をめざして」の統一テーマで開かれた経済シリーズ例会(2月・3月・4月・8月)は特筆できる事業で、企業人としての個々の意識改革を学び、最終的にはまともとして商工会議所・中経連・同友会の協力を得て「名古屋経済会議」開催に結びつけました。

第28年度 (1978)



理事長 野寄東太郎

直前理事長	加藤 千磨	待井 雄介	杉本 仁至	吉田 春樹	大原 康之
副理事長	田嶋 好博				
専務理事	鶴飼 治昭				
監事	川村 悌式	柏木 順彦	大隈 園彦		
特別顧問	田口義嘉壽				
顧問	伊藤 善朗				
無任所常任理事	西村 嘉絃				
常任理事	松田 紀興	早川 和夫	横山 昇	吉田 大士	樫木 正雄 金森徳三郎 青山 孝雄
	沢井 孝郎	安藤 重良	牧ヶ野義雄	江口 太郎	
無任所理事	広瀬 武	小林 丈絃	小林 一光		
理事	那須 國宏	森川 幸洋	山口 道夫	国分 孝雄	横井 寿男 坂川 勝 鈴木 和雄
	伊藤 哲郎	雨宮 治昭	尾畑 孝	伴 禎夫	島本 迪彦 森 良雄 筒井 信之
	鶴田 樹弘	山端 康平	渡辺 文雄	斉藤 文孝	恵美 哲雄 牧野 昌司

■**主要事業** 価値観が多様化し、不確実性の時代と呼ばれる28年度は、「社会的、国家的、国際的な責任」を自覚した市民連帯感と、個人の創意が生かされる社会づくりをめざして事業を展開した1年でした。事業の継続性に重点が置かれたのが特徴で、前年度に大きな反響のあった名古屋青年会議や名古屋経済会議などが引き続き開催されました。

青年会議ではオリンピックの誘致問題を調査研究して提言し、経済会議では3回のシリーズ例会を含めて「自由主義経済と企業家精神」をテーマに

討論されました。またJCデー統一事業では、同じ日の同じ時間に同じテーマで全委員会が討論会を開催するというユニークな試みが行われました。

このような活動の基本方針となったのは「地についたJC運動をめざそう」「厳しい現況を直視し、これからの企業と経済人の進むべき道を考えよう」「市民のニーズに応える地方自治問題に取り組もう」「広い視野に立ち、国際都市名古屋を考えよう」の4点で、これを11室20委員会に分かれて事業推進しました。

第29年度 (1979)



理事長 古川 爲之

直前理事長	野寄東太郎	吉田 大士	水谷 鎮夫	安藤 重良	青山 孝雄
副理事長	稲川 守彦				
専務理事	武部 宏				
監事	待井 雄介	西村 嘉絃	大隈 園彦		
顧問	田嶋 好博	広瀬 武			
無任所常任理事	杉本 仁至				
常任理事	那須 國宏	恵美 哲雄	鈴木 和雄	伊藤 哲郎	雨宮 治昭 尾畑 孝 小山 慎介
	島本 迪彦	山田 隆雄	渡辺 文雄	國分 孝雄	鶴飼 治昭
無任所理事	吉田 春樹				
理事	加藤 勝昭	伊東 信吉	舟橋 政男	宮田 五郎	岩根 敬泰 岩田 玄知 小池 教夫
	谷 喜久郎	堀田 達夫	鬼頭 完次	大竹 勇司	吉田 雅樹 河原 好彦 田島 慶雄
	恒川 知彦	嶋田 健二	山内 芳郎	田中 義一	酒井 敏彦 稲川 久 天野 俊明
	遠藤 正昭				

■**主要事業** 88名という多数の新入会員を得て会員数500名を超えた29年度。来るべき80年代に新たな成熟社会を構築するため、市民連帯・国民連帯・世界連帯をめざして広い視野でJC運動を展開した1年となりました。

歴史的観点から日本の特性を理解して世界における日本の前述を考える例会を開催し、会員自身のバックボーンである経営を安定させるべく経営手法を学ぶシリーズ例会を3回にわたって開き、2回の勉強会をベースにした会員同志の討論会例会も開催しました。6回にわたって行われた理事長を囲む

会も、互いの理解と研鑽の場、青年経済人としての道徳心を確立する場となりました。

青年会議と経済会議を発展させて開催した「名古屋大都市圏青年会議」では、魅力ある名古屋の繁栄をめざして提言しました。またオリンピック誘致活動を東海地区へと広げ、オリンピック展開や「88名古屋オリンピック誘致をすすめる会」を結成するなど、世論の盛り上げに尽力しました。

第30年度 (1980)



理事長 吉田 春樹

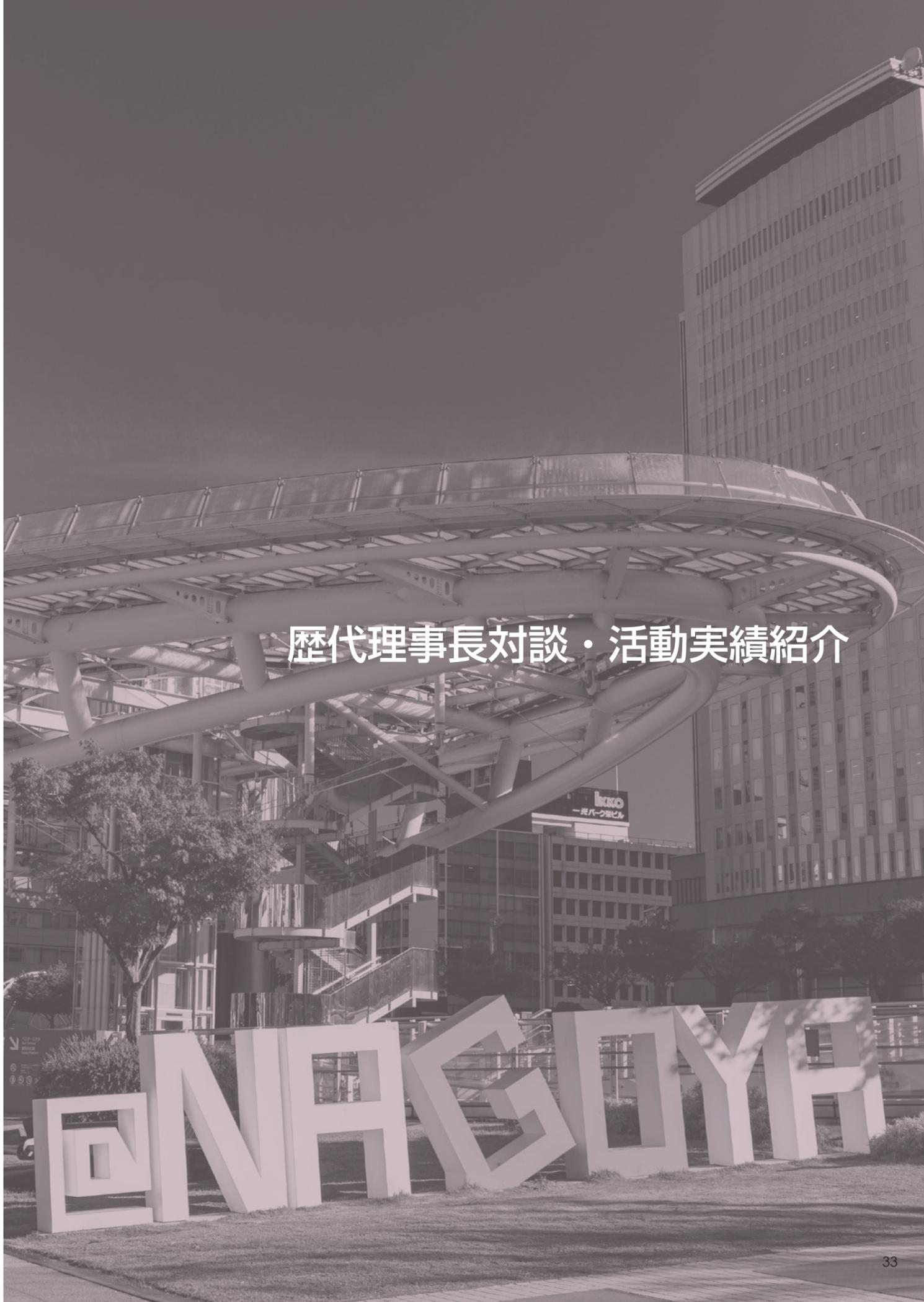
直前理事長	古川 爲之	鶴飼 治昭	雨宮 治昭	金森徳三郎	鈴木 和雄
副理事長	島本 迪彦				
専務理事	樫木 正雄				
監事	杉本 仁至	吉田 大士	野寄東太郎		
顧問	待井 雄介	西村 嘉絃	安井 隆豊		
常任理事	西村 光雄	伴 禎夫	天野 俊明	河原 好彦	嶋田 健二 山内 芳郎 近藤 正典
	森川 幸洋	竹田 光宏	酒井 敏彦	加藤 勝久	那須 國宏
無任所理事	青山 孝雄	牧野 昌司	筒井 信之		
理事	井桁 正保	丹羽 幸彦	井口 外昭	若月 純人	祖父江泰治 西川 輝男 本多 清治
	福永 仁	長瀬由司久	丹下 康廣	辻本 昌孝	吉木 洋二 増田 盛英 宮崎 渡
	平手 満彦	安藤 恒春	宮堂 史朗	伊藤 建一	山口 勝弘 鈴木 邦夫 尾上 昇
	山田 靖典				

■**主要事業** 世界と共に生きる日本、世界の中の名古屋——30年度は、「調和・文化・意識」をメインテーマにして、地域文化とそれらを形成する人間社会づくり、精神文化の高揚という理想に向かって数々の事業が展開された1年でした。

「名古屋オリンピックフェスティバル」は5月に開催されました。栄をスタートして愛知県体育館をゴールとする名古屋で初めてのシティマラソンで、市民の賛同を得て予想以上の人数が参加、オリンピックをアピールしました。スポーツの振興を図る「子どもの祭典」は、各界から喜ばれました。

30周年記念事業は「たしかめよう創始の心、考えよう80年代、飛び出そう21世紀へ」を合い言葉に記念式典と懇親会をはじめ、ナゴヤまつりフェスティバル、青少年まつり文化大賞、記念誌が企画されました。

中でも、愛知県と中国・江蘇省が姉妹提携したこともあって南京市からちびっ子大使「小紅花芸術団」を招聘、公演やホームステイ、交流キャンプなどを行って親睦を深めたことは、世界の中の名古屋を考えるうえで重要なポイントとなりました。



歴代理事長対談・活動実績紹介

第60年度例会



1月例会「新年賀詞交歓会」
開催日：2010年1月12日（火）
開催場所：名古屋観光ホテル
担当：総務委員会



2月例会「未来はぼくらの手の中に～創りだそう、日本の未来を～」
開催日：2010年2月23日（火）
開催場所：名古屋市芸術創造センター
担当：日本の未来創造委員会



3月例会「新 NAGOYA 型経営で時代を乗り切れ!～変革へのチャレンジ～」
開催日：2010年3月19日（金）
開催場所：愛知県産業労働センター（ウインクあいち 大ホール）
担当：新 NAGOYA 型経営探求委員会



4月例会「真実を見極めろ～メディアリテラシーのすゝめ～」
開催日：2010年4月13日（火）
開催場所：名古屋市公会堂
担当：メディアリテラシー向上委員会



5月例会「相撲がくれた和の心」
開催日：2010年5月8日（土）
開催場所：愛知県体育館
担当：スポーツシティーなごや創造委員会



6月例会「リーダーの条件～リーダーシップとコミュニケーション～」
開催日：2010年6月16日（水）
開催場所：アートピアホール
担当：JC 運動発信特別委員会



7月例会「日本の未来へ羽ばたけ!名古屋男児・名古屋撫子よ!」
開催日：2010年7月22日（木）
開催場所：テレビアホール
担当：格好良い NAGOYA 人育成委員会



8月例会「JC フォーラム 2010 ～名古屋が地球を救う!!～」
開催日：2010年8月8日（日）
開催場所：愛知県芸術劇場（愛知芸術文化センター 大ホール）
担当：JC フォーラム特別委員会



9月例会「育もう! かがかやく名古屋のスーパーキッズ」
開催日：2010年9月4日（土）
開催場所：名鉄ホール
担当：スーパーなごやキッズ育成委員会



10月例会「トークショー「わっしょい」～人と人の繋がりによる無限の可能性」
開催日：2010年10月30日（土）
開催場所：大須観音
担当：New なごや祭り創造委員会



11月例会「可能性の扉を開け!～名古屋 JC BREAK～」
開催日：2010年11月30日（火）
開催場所：ウィルあいち（愛知県女性総合センター）
担当：財務委員会



12月例会「～次代に繋がる名古屋青年会議所の「和」」
開催日：2010年12月9日（木）
開催場所：ウエスティンナゴヤキャッスル
担当：オリエンテーション特別委員会

第60年度事業



第60回全国会員大会名古屋大会 PR
開催日：2010年6月～10月2日
開催場所：関連各所
担当：全国会員大会準備委員会



「和」のタネをまこう!～三十一文字（ミノトモジ）で伝える想い～
開催日：2010年6月20日～9月5日
開催場所：文化のみち榎木館他
担当：名古屋JC設立60周年記念委員会



公益社団法人名古屋青年会議所設立60周年記念式典
開催日：2010年7月9日（金）
開催場所：ウエスティンナゴヤキャッスルホテル
担当：名古屋 JC 設立60周年記念委員会



子ども未来予想図～まちを考え!描こう未来!～
開催日：2010年7月1日～8月8日
開催場所：名古屋市内絵画教室他
担当：第60回全国会員大会準備委員会



名古屋ローカルヒーロー 超天「ダガヤ」～どえりゃーマン列伝～
開催日：2010年8月8日～12月2日
開催場所：愛知芸術文化センター アートスペースA 他
担当：財務委員会



名古屋お笑い大会「NAGOYAN グランプリ」
開催日：2010年9月11日～10月11日
開催場所：名古屋 JC 会館他
担当：総務委員会



中村公園クリーンフェスティバル 2010
開催日：2010年9月23日～11月23日
開催場所：中村公園
担当：広報委員会



NAGOYA POWER フェスティバル 2010
開催日：2010年11月14日（日）
開催場所：名古屋市中区二の丸（名古屋城周辺道路）
担当：渉外委員会

2010年1月～12月
名古屋青年会議所の動き

- 1/12 1月例会新年賀詞交歓会、名古屋観光ホテルで新年賀詞交歓会を開催
- 4/30 公益社団法人制度改革への対応、公益社団法人名古屋青年会議所の事業計画作成提出
- 5/8 わんぱく相撲名古屋場所、愛知県体育館に本土俵をつくり、わんぱく相撲名古屋場所を開催
- 6/1 第60回全国会員大会名古屋大会 PR 開始、全国各地にて第60回全国会員大会名古屋大会 PR 開始
- 6/20 地域貢献事業を各地で開催、6委員会が記念事業として各地で地域貢献事業を開催
- 7/9 60周年記念式典開催、ウエスティンナゴヤキャッスルにて設立60周年記念式典を開催
- 8/8 JC フォーラム開催、愛知県芸術劇場にて「名古屋が地球を救う!」と題して JC フォーラムを開催
- 9/18 名古屋の魅力を外に発信する事業、CBC テレビと堤幸彦監督協力で TV 映画「おかげ様で!」を作成・放映
- 10/30 10月例会、大須観音にてわっしょい太鼓祭り400人太鼓実施
- 12/9 12月例会、ウエスティンナゴヤキャッスルにて12月例会を開催

社会の動き

- 1/12 ハイチで大地震、25万人死亡
- 1/19 日本航空が経営破綻、会社更生法の適用を東京地裁に申請、負債額は約2兆3,000億
- 4/20 宮崎県で口蹄疫、口蹄（こうてい）疫が国内で10年ぶりに発生、牛豚29万頭を処分
- 5/28 普天間、「辺野古」で日米合意、日米両政府は米軍普天間飛行場を辺野古への移設を明記した共同声明を発表
- 5/30 欧州債務危機が拡大、ギリシャ、アイルランドがEUやIMFなどの緊急融資を仰いだ
- 6/2 鳩山退陣、菅内閣が発足、鳩山由紀夫首相は退陣を表明、菅直人氏が代表に選出され、61人目の首相に指名
- 6/13 小惑星探査機「はやぶさ」が帰還、小惑星「イトカワ」の微粒子の回収に成功、世界初の快挙を達成した
- 6/30 中国GDP、四半期ベースで世界2位、中国が米国に次ぐ世界第2位の経済大国となった
- 9/7 尖閣沖で中国漁船衝突、沖縄、尖閣諸島沖の日本領海で、中国漁船が海上保安庁の巡視船に衝突
- 9/15 ゼロ金利復活、円高で6年半ぶり市場介入
- 9/28 北朝鮮の金正恩氏デビュー、金正日総書記の三男、正恩氏が党中央軍事委員会副委員長に選出された

第61年度例会



1月例会「新年賀詞交歓会」
開催日：2011年1月11日（火）
開催場所：名古屋観光ホテル
担当：総務委員会



2月例会「～マーケティングでまちを変える～」
開催日：2011年2月28日（月）
開催場所：ウインクあいち
担当：地域企業戦略研究委員会



3月例会「知ってるつもり!?名古屋の歴史～名古屋で生まれた感動ストーリー～」
開催日：2011年3月23日（水）
開催場所：名古屋市芸術創造センター
担当：名古屋の歴史検証委員会



4月例会「名古屋スピリッツで世界が変わる～自分が変われば、世界が変わる～」
開催日：2011年4月19日（火）
開催場所：ウインクあいち 大ホール
担当：名古屋スピリッツ研究委員会



5月例会「私たちの社会システム～鏡の中の自分に問いかけてみよう～」
開催日：2011年5月18日（水）
開催場所：名古屋市芸術創造センター
担当：新しい社会システム研究委員会



6月例会「ソウゾウしよう、新しい経済システム～心が動けば社会が変わる～」
開催日：2011年6月14日（火）
開催場所：ウインクあいち 大ホール
担当：経済システム研究委員会



7月例会「心ゆたかな子どもたちの未来のために～はぐくもう!リスペクトする心～」
開催日：2011年7月20日（水）
開催場所：ウインクあいち 大ホール
担当：リスペクトする心育成委員会



8月例会「総決起集会」
開催日：2011年8月27日（土）
開催場所：名古屋国際会議場
担当：渉外委員会



9月例会「選挙例会」
開催日：2011年9月1日（木）
開催場所：ウインクあいち 大ホール
担当：公益社団法人運営委員会



10月例会「日本のカタチ。～日本人として考え、行動しよう。わたしたちの国づくり～」
開催日：2011年10月6日（木）
開催場所：名古屋能楽堂
担当：日本型民主主義研究委員会

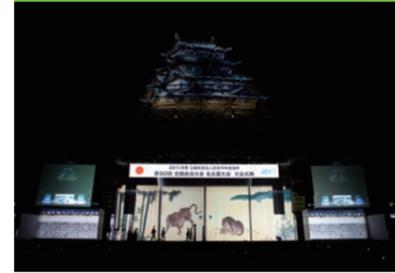


11月例会「そうだったのか!「ほんものの学力」のススメ!」
開催日：2011年11月30日（水）
開催場所：ウインクあいち 大ホール
担当：ほんものの学力向上委員会



12月例会「『継承』～リスペクトする心をこめて～」
開催日：2011年12月13日（火）
開催場所：ウエスティンナゴヤキャッスル
担当：JC運動連携推進委員会

第61年度事業



全国会員大会 名古屋大会大会式典
開催日：2011年10月2日（日）
開催場所：ナゴヤドーム
担当：ひとつくりグループ



全国会員大会 地域活性化からいち
開催日：2011年9月30日～10月1日
開催場所：ナゴヤドーム
担当：まちづくりグループ



おもてなしの心を育成する全国会員大会記念グループ事業
開催日：2011年9月23日
開催場所：名古屋駅前他
担当：全国大会推進グループ



リスペクトする心を育む全国会員大会記念グループ事業
開催日：2011年7月3日～12月28日
開催場所：名古屋国際会議場他
担当：ひとつくりグループ



明るく元気な名古屋を創造する全国大会記念グループ事業
開催日：2011年10月1日（土）
開催場所：ナゴヤドーム
担当：まちづくりグループ



美しい日本の心を発信する全国会員大会記念グループ事業
開催日：2011年7月5日～10月1日
開催場所：堀川他
担当：美しい日本の心発見グループ



リスペクトされる国家を創造する全国会員大会記念グループ事業
開催日：2011年9月17日～10月2日
開催場所：鶴舞公園他
担当：国家のデザイン構築グループ



NAGOYA CYCLE FESTA 2011～自転車まち名古屋～
開催日：2011年12月4日
開催場所：庄内緑地公園他
担当：総務グループ

2011年1月～12月 名古屋青年会議所の動き

- 1/11 1月例会新年賀詞交歓会、名古屋観光ホテルで新年賀詞交歓会を開催
- 3/12 有志による募金活動、名駅・伏見・栄など主要駅で青年会議所として東日本大震災への募金活動と支援活動を開始
- 3/23 3月例会開催、東日本大震災直後、前向きに行こうと3月例会を開催
- 4/22 入会希望者募集活動、277名の入会希望者を募集した
- 6/24 世代間交流事業開始、6月24日から10月14日まで全7回名古屋わっしょい太鼓祭りを主題に世代間交流事業を開催
- 7/1 第60回全国記念大会登録開始、登録前からPR活動を行い、7月1日から全国会員大会名古屋大会の登録が開始
- 7/3 全国会員大会記念事業開始、名古屋各地で第60回全国会員大会の記念事業が開催
- 8/27 決起集会開催、名古屋国際会議場にて8月例会として全国会員大会決起集会を開催
- 9/29 第60回全国会員大会名古屋大会開催、2011年9月29日から10月2日まで第60回全国会員大会名古屋大会が開催、登録人数16,000名超過過去最大
- 12/13 12月例会、ウエスティンナゴヤキャッスルにて12月例会を開催

社会の動き

- 1/1 「アラブの春」で独裁体制崩壊、独裁的な政府に対し政治の改革や指導者の退陣を求める民衆抗議行動が相次
- 3/11 東日本大震災、原発事故被害甚大、3月11日午後2時46分、宮城県沖でマグニチュード9.0の巨大地震が発生、大津波が次々と沿岸部を襲った
- 3/17 一時1ドル=75円32銭歴史的円高、東日本大震災や欧米経済の先行き不安などを背景にラディカルな疑念を殺害、パキスタンの首都イスラマバード北方約50キロのアバタバードで潜伏先を急襲
- 5/1 原発停止、電力不足が深刻化、東日本大震災による東京電力福島第1原発事故などの影響で、各地で電力供給不足が深刻化した
- 7/1 原発停止、電力不足が深刻化、東日本大震災による東京電力福島第1原発事故などの影響で、各地で電力供給不足が深刻化した
- 7/17 女子サッカーW杯優勝、ドイツ各地で行われたワールドカップで、「なでしこジャパン」が初優勝の快挙を果たした
- 7/20 タイで大洪水、日本企業にも被害、タイ東部などで7月下旬、激しい豪雨があり、大洪水が発生、洪水被害は10月に入って拡大
- 8/15 反格差デモ、世界に拡大、ニューヨークのウォール・ストリートで9月下旬、経済格差や高失業率に数百人が抗議活動を開始した
- 9/2 野田政権発足、菅直人首相は6月2日対応に見通しが立った段階で辞任する意向を表明した
- 11/11 TPP参加表明、首相は米ホノルルの日米首脳会談で、日本政府の交渉参加方針をオバマ大統領に伝達
- 11/27 「維新の会」圧勝、「大阪維新の会」代表の橋下徹氏が市長に、幹事長の松井一郎氏が知事にそれぞれ初当選した
- 12/17 北朝鮮金正日総書記が死去

第62年度例会



1月例会「新年賀詞交歓会」
開催日：2012年1月10日（火）
開催場所：名古屋観光ホテル 曙の間
担当：総務委員会



2月例会「成熟社会を生き抜くために～探してみよう！一人ひとりの幸せのかたち～」
開催日：2012年2月24日（金）
開催場所：名古屋市公会堂
担当：成熟国家を生き抜くちから研究委員会



3月例会「企業成長の秘訣～企業の長期的利益を実現するには～」
開催日：2012年3月28日（水）
開催場所：名古屋芸術創造センター
担当：つながりの経営実践委員会



4月例会「MADE IN JAPAN フェスタ 2012～感じよう！ものづくりの情熱～」
開催日：2012年4月14日（土）
開催場所：ナディアパーク デザインホール
担当：ものづくりのこころ再興委員会



5月例会「～きつともつとすきになる～悠久の歴史から分かる日本の心」
開催日：2012年5月25日（金）
開催場所：ウインクあいち 大ホール
担当：悠久の歴史研究委員会



6月例会「次代の環境を考えよう！環境リテラシー～真実を自ら掴め～」
開催日：2012年6月18日（月）
開催場所：アートピアホール
担当：次代の環境研究委員会



7月例会「～人の話、聴いていますか？～思いやりの心から始まる真のコミュニケーションとは！」
開催日：2012年7月31日（火）
開催場所：名古屋市公会堂
担当：つなげるちから実践委員会



8月例会「イキイキした子どもの育み方～自ら切り拓く未来へ向けて～」
開催日：2012年8月31日（金）
開催場所：ウィルあいち ウィルホール
担当：たくましく生き抜くちから育成委員会



9月例会「ICTでイノベーションを起こす！～次代を切り拓くのはあなたです～」
開催日：2012年9月19日（水）
開催場所：ウインクあいち 大ホール
担当：情報化社会を生き抜くちから研究委員会



10月例会「JCフォーラム2012～湧き上がった！日本人の底力～」
開催日：2012年10月21日
開催場所：名古屋市公会堂
担当：JCフォーラム特別委員会



11月例会「自らの選択が未来を変える！～あなたの考えるエネルギーベストミックスとは～」
開催日：2012年11月8日（木）
開催場所：テレビアホール
担当：次代のエネルギー研究委員会



12月例会「つながり～心をつなげて～」
開催日：2012年12月3日（月）
開催場所：名古屋東急ホテル
担当：会員拡大実践委員会

第62年度事業



副委員長セミナー
開催日：2011年10月22日～23日
開催場所：名鉄犬山ホテル
担当：JC観構築特別委員会



褒章申請セミナー
開催日：2012年2月17日（金）
開催場所：名古屋JC会館
担当：情報化社会を生き抜くちから研究委員会



第29回わんぱく相撲名古屋大会
開催日：2012年5月12日・13日
開催場所：日本ガイシホール
担当：わんぱく相撲実践委員会



JC 観を構築する事業
開催日：2012年7月9日～12月
開催場所：テレビアホール他
担当：JC 観構築特別委員会



卒業予定者連絡会議
開催日：2012年7月10日（火）
開催場所：喜多八（名古屋市中区錦）
担当：次代の環境研究委員会



みんなつながるプロジェクト～見せよう地域の大人たちが頑張り支え合う姿を～
開催日：2012年8月25日～9月23日
開催場所：名古屋市立児玉小学校 校庭 体育館他
担当：地域教育ネットワーク構築委員会



育もう、人々のふれあい、こころの絆！～地域防災つながりプログラム～
開催日：2012年9月9日～11月25日
開催場所：名古屋市立日吉小学校体育館他
担当：災害ネットワーク構築委員会



描こう！みんなで創る未来のまち 名古屋
開催日：2012年10月8日
開催場所：吹上ホール
担当：名古屋のまちづくり研究委員会

2012年1月～12月 名古屋青年会議所の動き

- 1/11 1月例会新年賀詞交歓会、名古屋観光ホテルで新年賀詞交歓会を開催
- 2/24 2月例会「成熟社会を生き抜くために～探してみよう！一人ひとりの幸せのかたち～」を開催
- 3/28 3月例会「企業成長の秘訣～企業の長期的利益を実現するには～」を開催
- 6/18 6月例会「次代の環境を考えよう！環境リテラシー～真実を自ら掴め～」を開催
- 8/31 8月例会「イキイキした子どもの育み方～自ら切り拓く未来へ向けて～」を開催
- 8/25-9/23 みんなつながるプロジェクト、～見せよう地域の大人たちが頑張り支え合う姿を～を開催
- 9/19 9月例会「ICTでイノベーションを起こす！～次代を切り拓くのはあなたです～」を開催
- 10/7-11/10 グループ事業開催、名古屋各地でグループ単位で実施するグループ事業を開催
- 11/8 11月例会「自らの選択が未来を変える～あなたの考えるエネルギーベストミックスとは～」を開催
- 12/9 12月例会、名古屋東急ホテルにて12月例会を開催

社会の動き

- 4/1 ミャンマー民主化進展、民主化運動指導者アウン・サン・スー・チー氏率いる国民民主連盟が勝利を収め、同氏自身も下院議員に当選した
- 4/11 金正恩氏、第1書記に、労働党代表者会で、党最高ポストの第1書記に就任した
- 6/8 中国など新興国の景気減速、世界経済のけん引役となっていた新興国で、成長率の低下が目立った
- 8月 消費増税法が成立、2014年4月に税率を5%から8%に17年ぶりに引き上げ、2015年10月には10%
- 8/10 中国・韓国との関係悪化、日本と中国、韓国との間で島の領有権をめぐる対立が激化
- 11/6 米大統領にオバマ氏再選、共和党のロムニー前マサチューセッツ州知事を破り、再選を果たした
- 11/15 中国トップに習近平氏、習近平国家副主席（59）が総書記に選出された
- 12/10 山中教授にノーベル医学生理学賞、体のあらゆる細胞になる能力を持つ人工多能性幹細胞（iPS細胞）を開発した
- 12/16 自公圧勝、政権奪還、3年3カ月ぶりに政権を奪還した
- 12/19 韓国大統領に朴槿恵氏、韓国大統領選で、保守系与党セヌリ党の朴槿恵氏（60）が女性として初の当選を果たした

第63年度例会



1月例会「新年賀詞交歓会」
開催日：2013年1月15日（火）
開催場所：名古屋観光ホテル 曙の間
担当：総務委員会



2月例会「みんなで知ってみんなで護ろう日本の領土・領海」
開催日：2013年2月21日（水）
開催場所：名古屋市公会堂
担当：領土・領海問題検証委員会



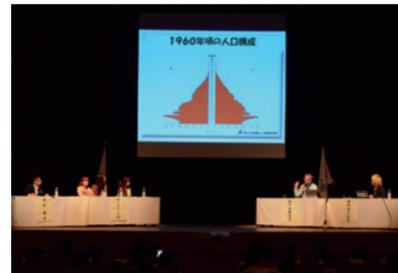
3月例会「明日をちょっと明るくする方法～そだ、情緒力を高めよう!～」
開催日：2013年3月23日（火）
開催場所：名古屋大学 豊田講堂 ホール
担当：情緒力育成委員会



4月例会「今、地方自治を考えると!自ら創造していこう、私たちの名古屋」
開催日：2013年4月8日（月）
開催場所：ウインクあいち 大ホール
担当：地方自治再編研究委員会



5月例会「高邁な精神を持つ青年経済人となるためには～教えます、あなたの会社を強くする方法～」
開催日：2013年5月15日（水）
開催場所：テレビアホール
担当：経営資質向上研究委員会



6月例会「政治を知らない若者はウン千万円損してる!?政治を動かすのは私たち!」
開催日：2013年6月26日（水）
開催場所：名古屋市公会堂
担当：真の国民民主権研究委員会



7月例会「世界に誇れるまち～名古屋はこんなにどえりゃあまち～」
開催日：2013年7月25日（木）
開催場所：ウインクあいち 大ホール
担当：誇りあるまち名古屋創造委員会



8月例会「私の想い、届いてますか?～あなたの心に届く想いの伝え方～」
開催日：2013年8月7日（水）
開催場所：青少年文化センター アートピアホール
担当：心を揺さぶる力研究委員会



9月例会「コミュニティが創造する繋がり連鎖～欲しい未来はみんなできつろう～」
開催日：2013年9月30日（月）
開催場所：ウインクあいち 大ホール
担当：都市型コミュニティ研究委員会



10月例会「青年よミッションを掲げろ!～行動する市民となるために～」
開催日：2013年10月21日（月）
開催場所：ウインクあいち 大ホール
担当：LDの本質探究委員会



11月例会「JC フェスティバル 2013」
開催日：2013年11月17日（日）
開催場所：久屋広場他
担当：JC フェスティバル運営委員会



12月例会「次代への継承～To the next generations～」
開催日：2013年12月2日（月）
開催場所：名古屋東急ホテル
担当：渉外委員会

第63年度事業



情報の本質を検証する事業
開催日：2013年6月30日～11月17日
開催場所：ウインクあいち他
担当：情報の本質検証委員会



世界から愛される日本を知ろう!伝えよう!
開催日：2013年10月27日～11月17日
開催場所：久屋広場他
担当：国家の品格復興委員会



まちの誇りを創造する提言書
開催日：2013年11月17日（日）
開催場所：JC フェスティバル会場並びに周辺
担当：まちの誇り創造グループ



なごや防災フェスタ 2013 ～災害に負けない強いチカラを備えよう!!～
開催日：2013年11月17日（日）
開催場所：久屋広場
担当：地域ネットワーク構築委員会



ナゴヤキッズドリームフェスティバル 2013
開催日：2013年11月17日（日）
開催場所：JC フェスティバル会場
担当：子どもの未来創造委員会



名古屋青年会議所の広報誌の発行
発行日：2013年1月25日・4月25日・7月5日・8月2日・10月25日・12月27日
担当：広報委員会



公益社団法人の検証と運営
担当：財務委員会



誇り高き JAYCEE を育成する事業
開催日：2013年11月20日（水）
開催場所：名古屋 JC 会館
担当：誇り高き JAYCEE 育成会議

2013年1月～12月
名古屋青年会議所の動き

- 1/15 1月例会新年賀詞交歓会、名古屋観光ホテルで新年賀詞交歓会を開催
- 2/21 2月例会「みんなで知ってみんなで護ろう日本の領土・領海」を開催
- 4/8 4月例会「今、地方自治を考えると!自ら創造していこう、私たちの名古屋」を開催
- 6/29～8/4 会員スキルアップ LD セミナー、会員資質向上を目的に開催
- 6/30～11/17 情報の本質を検証する事業、情報を正しく取捨選択し読み解き、情報を的確に発信する力を養うことを目的に事業を開催
- 7/25 7月例会「世界に誇れるまち～名古屋はこんなにどえりゃあまち～」を開催
- 8/7 8月例会「私の想い、届いてますか?～あなたの心に届く想いの伝え方～」
- 10/17 政治家としゃべっちゃお!～若者が政治を動かせる～、次代を担う市民が、主権者として、政治を動かし得ることを認識し伝播することを目的に開催
- 10/21 10月例会「青年よミッションを掲げろ!～行動する市民となるために～」を開催
- 12/2 12月例会、名古屋東急ホテルにて12月例会を開催

社会の動き

- 4/4 アベノミクス始動、(1) 金融緩和 (2) 財政出動 (3) 成長戦略 - の「三本の矢」を好感した市場では年初から円安・株高が進み、景気回復ムードが高まった
- 4月 福島第1原発、汚染水深刻
- 7/21 参院選で自民圧勝、「ねじれ」解消
- 7/25 TPP 交渉に参加、高水準の貿易・投資自由化に向け、環太平洋連携協定 (TPP) 交渉に7月、日本が12番目の国として合流した
- 8/21 シリアで化学兵器使用、内戦が続く首都ダマスカス郊外で、化学兵器を使ったとみられる攻撃があり、毒ガスによる症状で1,000人以上が死亡
- 9/7 夏季五輪東京開催決定、東京がマドリド、イスタンブールを破り、2020年夏季五輪・パラリンピックの招致に成功した
- 10/1 消費増税、2014年4月実施を決定、閣議で2014年4月から予定通り8%に引き上げることを決めた
- 10/9 スノーデン容疑者、米情報収集活動を暴露、国家安全保障局 (NSA) が秘密裏に個人の通信情報を収集していたことを暴露した
- 11/23 中国が尖閣上空に「防空識別圏」、中国政府が東シナ海に「防空識別圏」を設定し、圏内で指令に従わない航空機には「武力で防衛的な緊急措置」を取ると警告
- 12/5 中国で「PM2.5」の汚染深刻化、原因は車の排ガスや石炭燃焼から発生する微小粒子状物質

第64年度例会



1月例会「新年賀詞交歓会」
開催日：2014年1月14日（火）
開催場所：名古屋観光ホテル 曙の間
担当：総務委員会



2月例会「呼び起こせ!日本の心 ~教育再生 私たちが歩むべき日本道!~」
開催日：2014年2月15日（土）
開催場所：名古屋大学 豊田講堂
担当：日本道確立委員会



3月例会「これからの教育~家庭にできること、地域にできること~」
開催日：2014年3月23日（日）
開催場所：名古屋ガーデンパレス
担当：教育構造確立委員会



4月例会「他人事でいいの?~これがホントの僕らのニッポン~」
開催日：2014年4月25日（金）
開催場所：ウイングあいち 大ホール
担当：国民意識確立委員会



5月例会「経済のあり方を提唱する例会」
開催日：2014年5月29日（木）
開催場所：青少年文化センター アートピアホール
担当：社会起業家育成委員会



6月例会「私が変わる。社会が変わる。」
開催日：2014年6月23日（月）
開催場所：名古屋市教育センター
担当：国家ビジョン策定特別委員会



7月例会「人間力って何? ~自身の人間力を高め社会に活かそう~」
開催日：2014年7月15日（火）
開催場所：名古屋市芸術創造センター
担当：人間力向上委員会



8月例会「JCフォーラム2014~マルハチコンパレンス~」
開催日：2014年8月8日（金）~8月10日（金）
開催場所：愛知芸術文化センター
担当：JCフォーラム運営特別委員会



9月例会「新しい社会システムを提言する例会」
開催日：2014年9月26日（金）
開催場所：名古屋市教育センター
担当：新社会システム構築委員会



10月例会「いつもの朝が来るとは限らない! ~日々の防災意識が希望ある明日をつくる~」
開催日：2014年10月17日（金）
開催場所：鯉城ホール
担当：防災都市構築委員会



11月例会「未来は僕等の手の中に」
開催日：2014年11月19日（水）
開催場所：日本特殊陶業市民会館フォレストホール
担当：一期一会の繋がり構築委員会



12月例会「~次代へと繋げよう一期一会の覚悟~」
開催日：2014年12月16日（火）
開催場所：名古屋東急ホテル
担当：財務委員会

第64年度事業



地域貢献事業 僕らの森のひみつ基地~名古屋SATOYAMA体験~
開催日：2014年8月2日~8月9日
開催場所：金城学院大学キャンパス内他
担当：広報委員会



地域貢献事業 一緒につくろう、一緒に遊ぼう~ぼくらのワンダーランド~
開催日：2014年11月15日~11月16日
開催場所：愛知学院大学他
担当：JC運動発信委員会



一期一会の繋がりを構築する事業 見つけよう、自分の魅力!信じよう、みんなの夢!~「共助」が社会を変える~
開催日：2014年5月15日~7月12日
開催場所：千葉県立四街道高等学校他
担当：一期一会の繋がり構築委員会



地域貢献事業 東日本大震災の悲しみを忘れない~企業人としてできることは~
開催日：2014年12月22日
開催場所：名古屋サンスカイルーム
担当：渉外委員会



世界に「日本道」を広める事業「日本道」を呼び覚まし、世界に発信しよう ~自国を知り、世界へ羽ばたけ!~
開催日：2014年5月14日~10月26日
開催場所：名古屋大学他
担当：国際交流委員会



地域貢献事業 名古屋きしめんフェスティバル~きしめんのまち名古屋を目指して~
開催日：2014年11月30日（日）
開催場所：久屋大通公園
担当：財務委員会



中長期ビジョンの検証並びに策定
担当：名古屋JCの未来創造会議



オリエンテーション実行会議
担当：オリエンテーション実行会議

2014年1月~12月
名古屋青年会議所の動き

- 1/14 1月例会新年賀詞交歓会、名古屋観光ホテルで新年賀詞交歓会を開催
- 4/25 4月例会「他人事でいいの?これがホントの僕らのニッポン」を開催
- 5/29 5月例会「経済のあり方を提唱する例会」会員の人間力を高める事業II、自立・共助の精神を兼ね備えた会員を育成することを目的に開催
- 7/15 7月例会「人間力って何?~自身の人間力を高め社会に活かそう~」を開催
- 8/2-12/22 地域貢献事業、名古屋各地で5つの地域貢献事業を開催
- 9/26 9月例会「新しい社会システムを提言する例会」を開催
- 10/17 10月例会「いつもの朝が来るとは限らない!~日々の防災意識が希望ある明日をつくる~」を開催
- 10/18-11/14 名古屋の魅力さをさらに高める事業、名古屋市と共催し、市民と共に名古屋の将来像を考える事業を開催
- 12/16 12月例会、名古屋東急ホテルにて12月例会を開催

社会の動き

- 1/28 STAP 細胞論文に捏造や改ざん、論文の実験画像に疑義が浮上、理研調査委員会が捏造や改ざんがあると不正を認定した
- 3/1 ウクライナ危機、親ロシア派政権が崩壊し、親欧州連合派政権が発足したのを受け、ロシア系住民が多数を占める南部クリミア半島にロシアが軍事介入
- 4/17 韓国旅客船事故で304人死亡・不明、旅客船「セウォル号」が沈没し、乗客乗員304人が死亡・行方不明となった
- 7/1 集団的自衛権容認、政府は7月1日、集団的自衛権の行使を容認する憲法解釈の変更を閣議決定した
- 9/27 御嶽山が噴火、57人が死亡、6人が行方不明
- 10/4 エボラ出血熱感染拡大、西アフリカのエボラ出血熱感染拡大、WHOは死者は6,000人を超えたと発表、感染者は2万人に迫ろうとしている
- 11/18 消費税率10%への引き上げ延期、安倍晋三首相は、消費税率10%への引き上げ予定を2017年4月に1年半延期することを決めた
- 12/5 円安・株高、日経平均株価は取引時間中に1万8,000円を回復した
- 12/14 衆院選で与党圧勝、自民党が291議席を獲得した、公明党と合わせると、与党で衆院定数の3分の2を上回る326議席を維持
- 12/17 米、キューバが国交正常化、米国とキューバは、国交正常化交渉の開始で合意したと発表した

第65年度例会



1月例会「新年賀詞交歓会」
開催日：2015年1月13日（火）
開催場所：名古屋観光ホテル 曙の間
担当：総務委員会



2月例会「日本を知ろう！～次世代へつなぐ私たちのプライド～」
開催日：2015年2月14日（土）
開催場所：名古屋能楽堂
担当：悠久の大義研究委員会



3月例会「目指せ100%例会「早熟な大人になる勿れ 志ある所に信は通じる！」～覚醒せよJAYCEEプライド-踏み出していこう100人の一歩を目指して!～」
開催日：2015年3月11日（水）
開催場所：ウエスティンゴヤキャッスル 2階「天守の間」
担当：JAYCEE プライド活性特別委員会



4月例会「戦後70年を迎えて～知ろう先達のプライド・挑戦しよう未来に向けて～」
開催日：2015年4月30日（木）
開催場所：ウインクあいち 大ホール
担当：近現代史検証委員会



5月例会「活力ハリケーン～100人の一歩に向けて～」
開催日：2015年5月28日（木）
開催場所：Zepp 名古屋
担当：活力溢れる若者育成委員会



6月例会「先駆ける名古屋経済!～未来を担う企業のあり方～」
開催日：2015年6月8日（月）
開催場所：ウインクあいち 大ホール
担当：世界を支える名古屋経済研究委員会



7月例会「知識を知恵に変え行動せよ。勇気ある一歩が名古屋を変える！」
開催日：2015年7月14日（火）
開催場所：ナディアパークデザインホール
担当：知行合一実践委員会



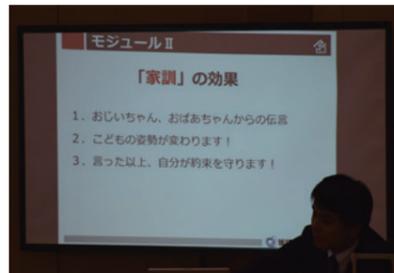
8月例会「JCフォーラム×宵まつり なごぼこ～Oh! What A Night!～」
開催日：2015年8月8日（土）、9日（日）
開催場所：名古屋城二之丸広場
担当：JCフォーラム運営特別委員会



9月例会「関わり合おうまちと企業、企業人として今できる防災とは」
開催日：2015年9月30日（水）
開催場所：笹島小学校・笹島中学校（小中一貫教育校）
担当：戦略的防災推進委員会



10月例会「地域の未来を発掘しよう!～まちと企業の新たな関係～」
開催日：2015年10月16日（金）
開催場所：名古屋市青少年文化センター
担当：まちと企業の未来創造委員会



11月例会「みんなで体感しよう真の親の姿」
開催日：2015年11月29日（日）
開催場所：名古屋経済大学高蔵高等学校・中学校体育館
担当：真の親学研究委員会



12月例会「～次代へつなげよう「名古屋プライド」～」
開催日：2015年12月8日（火）
開催場所：名古屋東急ホテル
担当：JC運動発信委員会

第65年度事業



3月フォーラム 見つめ直そう日本人の価値観を～日本型経営が人とまちの豊かな未来を創造する～
開催日：2015年3月25日（水）
開催場所：愛知県産業労働センター
担当：日本型資本主義経済発信委員会



9月フォーラム 地域で作ろうみんなの学校～一人ひとりが子供の未来のために～
開催日：2015年9月6日（日）
開催場所：鯉城ホール
担当：地域教育推進委員会



知識とつながりで戦え!in桶狭間～歴史と未来が融合したまち～
開催日：2015年11月1日（日）
開催場所：イオンタウン有松（屋上駐車場）
担当：歴史と未来結合グループ



地域を活性化させるグループ事業（名古屋市中心部）「まちの魅力を探そまい～100人ウォーキング～」
開催日：2015年10月12日（月・祝）
開催場所：白川公園・大須周辺・長者町周辺
担当：当事者意識漲る人材育成グループ



7月フォーラム 世界の文化祭～フォーラム「世界を身近に感じるために!」～
開催日：2015年7月12日（日）
開催場所：久屋大通公園 ちのの木広場
担当：グローバルな視点を持つ名古屋確立委員会



地域を活性化させるグループ事業（名古屋北西部）JC ハロウィン祭り～Trick or Treat!!～
開催日：2015年10月12日（月・体育の日）
開催場所：北名古屋市健康ドーム
担当：広報渉外グループ



地域を活性化させるグループ事業（名古屋南西部）「まちの魅力再発見!～なごぼと探検隊～」
開催日：2015年10月24日（土）
開催場所：名古屋港周辺
担当：まちと企業連携グループ



地域を活性化させるグループ事業（名古屋北東部）～みどりの魅力を知り、伝えよう!～
開催日：2015年8月22日（土）
開催場所：名古屋市東山植物園
担当：総務グループ

2015年1月～12月
名古屋青年会議所の動き

- 1/14 1月例会新年賀詞交歓会、名古屋観光ホテルで新年賀詞交歓会を開催
- 3/11 3月例会、目指せ100%例会「早熟な大人になる勿れ 志ある所に信は通じる!」を開催
- 3/22-11/15 次代を切り拓くビジネススクール、より良い社会の実現に向けて経済人として志の隔離とスキルアップをしてプライドをもっていただくために開催
- 4/30 4月例会、戦後70年を迎えて～知ろう先達のプライド・挑戦しよう未来に向けて～名古屋発!「名古屋友禅×学生」、まちと企業の未来を創造するために事業を開催
- 5/8-8/7 5月例会、活力ハリケーン～100人の一歩に向けて～地域で作ろう山車からくり、なごや小学校にて山車からくり事業を開催
- 5/28 5月例会、活力ハリケーン～100人の一歩に向けて～
- 6/7-8/8 地域で作ろう山車からくり、なごや小学校にて山車からくり事業を開催
- 8/22-11/1 グループ事業、名古屋各地にてグループ事業を開催
- 10/12 集え!ちびっこレーサー!ランバイク大会、名古屋から発信する新しい青少年事業として競技大会を開催
- 12/16 12月例会、名古屋東急ホテルにて12月例会を開催

社会の動き

- 1～12 外国人観光客激増、爆買も、訪日外国人数は、日本政府観光局の推計で前年同期比47.5%増の17,964,400人に達した
- 1～12 イスラム過激派のテロ、過激派組織「イスラム国」(IS)などによる大規模テロが各地で多発した
- 1～12 中東難民、欧州に殺到、シリアを中心に中東やアフリカの紛争や迫害を逃れ、欧州を目指す難民が急増した
- 1/28 ISが邦人人質殺害、ISはそれまで欧米人を殺害したとする動画を公開してきたが、邦人が犠牲になった事件は初めて
- 8/11 原発が再稼働、九州電力は川内原発1号機（鹿児島県薩摩川内市）の原子炉を起動し、再稼働させた
- 8/14 戦後70年の安倍首相談話、政府は戦後70年の安倍晋三首相談話を閣議決定した
- 9/1 新国立競技場建設、エンブレム白紙に、東京五輪・パラリンピックのメイン会場となる新国立競技場の建設計画や大会エンブレムが相次いで見直しを迫られた
- 9/19 安全保障関連法が成立、集団的自衛権の行使を可能にすることや、米軍への後方支援を大幅に拡大することなどを柱とする安全保障関連法が成立した
- 10/5 TPP交渉が大筋合意、日本や米国、オーストラリアなど12カ国による環太平洋連携協定(TPP)交渉が5年半に及ぶ協議の末、大筋合意した
- 11/30 COP21でパリ協定採択、COP21は、2020年以降の地球温暖化対策の新たな国際枠組み「パリ協定」を採択した

第
66
年度



歴代理事長対談

2016年度 第66代理事長 川中洋太郎先輩

「不撓不屈の JAYCEE
～揺るぎない情熱による「世界の中心となる名古屋」の実現を目指して～」

——第66年度のまちや組織の状況

光田 2016年当時のまちの状況はどのようなものでしたか。

川中 ちょうど、名古屋が魅力のないまちだったというニュースが出てきた年でしたね。私は、JR初代社長の須田寛さんの影響を受けているんですが、ちょうど「月刊なごや」の企画で須田さんと私が対談する機会をいただいたんです。その時に須田さんがおっしゃったのが、「名古屋は観光を馬鹿にしている」ということでした。名古屋はものづくり中心に発展してきましたが、ものづくり1本ではいずれ大変になると思い、名古屋のウィークポイントである観光面を強化するようなまちづくりの一翼を担うことができたら、と思いました。経済的には良かったと思います。

光田 第66年度がきっかけで、その後の年度にも観光面に関する事業というの

はつながってきていますね。

——第66年度のスローガン

光田 第66年度、「不撓不屈の JAYCEE ～ゆるぎない情熱による「世界の中心となる名古屋」の実現を目指して～」というスローガンを掲げられました。このスローガンに込められた想いや狙いを教えてください。

川中 「不撓不屈の JAYCEE」というのは、自分自身に向けた言葉でもありました。あまり言いたくないんですけど、意外と苦労してきていて。そのような中で31歳の時に青年会議所に入って、結構青年会議所に助けられたんです。経営者としては未熟だったので、失敗とか色々してきた中で、理事長をやることになった年がたまたま卒業年度だったということもあって、自分自身も不撓不屈、どんな困難にも立ち向かう JAYCEE と

いう意識でやってきたつもりだし、起業家にしろ3代目にしろ士業にしろ、同じ30代として、1人でも同じ意識をもってやれる人を増やしたいという想いがありました。

「世界の中心」というのは、観光面に限らず、色んな可能性を秘めたまちである名古屋をブランディングしていきたいという想いを込めて、このようなスローガンにしました。

光田 私は個人的に「レジリエンス」というキーワードを理事長所信の中で初めて目にしたんですが、やっぱり色んな局面でどうしても落ち込む時があって、そんな時に気合と根性というか、負けず嫌いな心というのが一番重要だなと感じて、このレジリエンスという言葉が何かある度に思い出していました。

川中 もっと前面に出せば良かったな(笑)。

——記憶にある事業・例会について

光田 第66年度の事業・例会や、あるいは運営面等で、印象に残っていることを教えてください。

川中 正直、全部成功したと思っています。多くの市民にも来ていただきましたし。

光田 言い方が正しいかわかりませんが、すごくバランスよくやられていたという印象です。

川中 対内例会と対外例会を分けたのは、公益社団法人化してから、外ばかりに目が向くようになって、会員益がおろそかになっているような気がしていたためです。ただ、やってみて思ったのは、対内ばかりに目を向けるよりも、市民に向けた発信をする中で会員益を図る方がうまくいくことも多いということでした。

光田 Facebook1万いいね!は、専務がかなり気合を入れて号令かけてましたね。

川中 専務に任せるところは専務に任せていましたね。6月フォーラム「若者からはじめよう～主権者としてあるべき姿を目指して!～」なんかは完全に専務マターでした(笑)。

光田 専門分野ですからね(笑)。

川中 運営面でいうと、議案はできるだけ早めに終わらせて、準備に入っていくという意識はもっていました。

光田 第60回全国会員大会名古屋大会5周年式典もありましたね。

川中 前年に小田原青年会議所の全国大会5周年式典も見に行きましたが、結構派手にやっていたんですね。ところが、我々がそれをやってしまうと、後に続く LOM にプレッシャーがかかってしまう。なので、あえてお金をかけすぎることなく、コンパクトな式典にしました。



——持続可能な組織に向けて

光田 名古屋青年会議所がこの先も続けていくためにどうあるべきだと思いますか。

川中 まずは自分の仕事をしっかりとやることだと思います。仕事と青年会議所という両輪が大事。あとは、青年会議所は単年度制なので、毎年度毎年度トップの想いを汲み取って自分にできることをしっかりとやっていくことの繰り返しだと思います。会社と同じですね。

——現役メンバーへのメッセージ

光田 最後に、現役メンバーへ向け一言お願いします。

川中 30代に多少無理してでも頑張れば、40代以降の明るい豊かな自分につながると思います。今でもよく遊

ぶ仲間は青年会議所の仲間だし、そこでの経験は貴重な財産になります。理事委員長をやって、みんな大変だとは言いますが、やらなきゃ良かったという人はいませんよね。まあ、あまりにもやりすぎて人間関係壊れることもなくはないですが、そこまでやりすぎるのもどうかとは思いますが、できる限りやってみることで、その後の人生に必ず生きてくると思うので、頑張ってくださいと思います。

光田 貴重なお話、ありがとうございます。



理事長	川中洋太郎
直前理事長	杉浦 卓
副理事長	山田 剛士 鈴木 和貴 岩田 一成 山本 直人
専務理事	河村 直樹
常務理事	阪野 照定
監事	伊藤 貴範 川島 謙一 乃一 剛英 岩崎 友就
顧問	青木 照護 大和 直樹
常任理事	前田 義浩 田中 祐治 河合 慎太 相川 悟郎 鈴木 直明 三宅 貴史 尾関 良祐 細川 雅也
出向役員	浅野 弘義 佐地 宏之
理事	白瀧 征人 佐藤 寿倫 秋山 知弘 高山 純平 峯田茶百良 山下 貴広 岩田 修昌 上田 隆人 鈴木 信輝 藤井 富浩 荒尾 政弘 梅田 鉄兵 仲谷 重夫 三輪 邦裕 光田 侑司 寺田 拓也

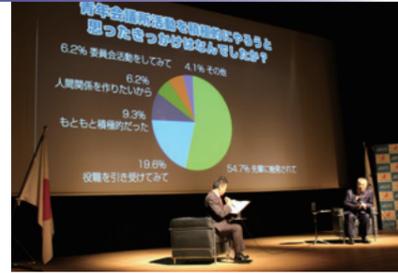
第66年度例会



1月例会「新年賀詞交歓会」
開催日：2016年1月12日（火）
開催場所：名古屋観光ホテル 曙の間
担当：総務委員会



2月例会「伝えよう！名古屋の誇り!!」
開催日：2016年2月22日（月）
開催場所：ウインクあいち 大ホール
担当：名古屋の誇り確立委員会



3月例会「ハートに火を灯せ!」
開催日：2016年3月17日（木）
開催場所：アートピアホール
担当：揺るぎない情熱確立委員会



4月例会「STAY HUNGRY!」
開催日：2016年4月20日（水）
開催場所：名古屋市公会堂 大ホール
担当：新たな時代のハングリー精神育成委員会



5月例会「ものづくりを支える名古屋」
開催日：2016年5月17日（火）
開催場所：名古屋芸術創造センターホール
担当：ものづくりを支える名古屋発信委員会



6月例会「ナゴヤ魅力フェスティバル」
開催日：2016年6月19日（日）
開催場所：アスナル金山
担当：名古屋の魅力発信委員会



7月例会「呼び起こせ!魂レボリューション」
開催日：2016年7月12日（火）
開催場所：デザインホール
担当：不撓不屈のJAYCEEを育成委員会



8月例会「子供たちは自ら強くなる」
開催日：2016年8月6日（土）
開催場所：鯉城ホール
担当：教育ビジョン確立委員会



9月例会「JCフォーラム2016」
開催日：2016年9月3日（土）
開催場所：日本特殊陶業市民会館 フォレストホール
担当：JCフォーラム特別委員会



10月例会「見つけ出せ!本物のリーダーシップ」
開催日：2016年10月20日（木）
開催場所：名古屋市公会堂
担当：本物のリーダーシップ発信委員会



11月例会「共に進もう!名古屋の未来」
開催日：2016年11月30日（水）
開催場所：ウインクあいち 大ホール
担当：世界の中心となる名古屋発信委員会



12月例会「次代へつなげよう!」
開催日：2016年12月6日（火）
開催場所：名古屋東急ホテル
担当：民間外交推進委員会

第66年度事業



名古屋青年会議所の広報誌の発行について
発行日：2016年1月22日・4月22日・7月6日・7月22日・10月21日・12月22日
担当：広報委員会



剣の交流会～第1回名古屋JC少年少女剣道大会～
開催日：2016年9月25日（日）
開催場所：愛知県武道館 大道場
担当：文武両道実践委員会



「ココがアツイ!」発見! 必見! 名古屋の新名所～
開催日：2016年9月3日（土）
開催場所：アスナル金山
担当：渉外・広報グループ



新入会員に対するオリエンテーション
開催日：2016年5月13日～9月6日
開催場所：名古屋銀行協会大ホール他
担当：オリエンテーション特別委員会



真の青年経済人育成プログラム「真経ゼミ」
開催日：2016年3月30日～7月27日
開催場所：宗次ホール他
担当：真の青年経済人育成委員会



若者からはじめよう～主権者としてのあり姿を目指して!～
開催日：2016年6月29日（水）
開催場所：青少年文化センター（アートピアホール）
担当：名古屋の未来選択委員会



地域貢献事業（総務グループ事業）
開催日：2016年5月～12月
開催場所：名古屋市内各地
担当：財務委員会



第60回全国会員大会名古屋大会5周年記念式典
開催日：2016年8月1日（月）
開催場所：名古屋観光ホテル 那古の間
担当：JC運動研究会

2016年1月～12月 名古屋青年会議所の動き

- 1/12 1月例会新年賀詞交歓会、名古屋観光ホテルで新年賀詞交歓会を開催
- 3/30 真の青年経済人育成プログラム「真経ゼミ」様々な講師による講演で経済人としての「知識」「礼節」「思考」「志」を学びました
- 4/1 「I Love NAGOYA!」フォト・ムービーコンテスト、市民が様々な視点で名古屋の魅力を探求・収集した写真、ムービーを集めてコンテストを開催
- 4/20 4月例会「STAY HUNGRY!」開催
- 6/19 6月例会「ナゴヤ魅力フェスティバル」を開催
- 8/1 全国開会5周年記念式典、第60回全国会員大会名古屋大会から5年の経過を祝して記念式典を開催
- 8/6 8月例会「子供たちは自ら強くなる～教育への親の関わり方～」を開催
- 9/25 剣の交流会、名古屋市内の小学生対象に青少年育成のための剣道大会を開催
- 11/30 11月例会「共に進もう!名古屋の未来～世界の中心となる名古屋実現のために～」を開催
- 12/6 12月例会、名古屋東急ホテルにて12月例会を開催

社会の動き

- 2/16 日銀、マイナス金利を初導入
- 4/14 熊本地震、死者150人超、益城町で震度7を観測した、地震の規模(マグニチュード=M)は6.5
- 5/27 米大統領、歴史的な広島訪問、現職の米大統領として初めて被爆地・広島を訪れ、平和記念公園の原爆死没者慰霊碑に献花した
- 6/1 消費増税、再延期、2017年4月に予定していた消費税率10%への引き上げを2019年10月に2年半先送りすることを表明
- 6月 英国がEU離脱決定、「東欧からの移民流入で職が奪われている」との不満やEUの規制に縛られることへの反発などが背景
- 7月 世界でテロ頻発、世界各地で「イスラム国」(IS)など過激組織が関与したとみられるテロが相次いだ
- 8/8 天皇陛下、退位の意向示唆
- 8/26 安倍首相、真珠湾慰霊へ、オバマ米大統領とともに訪問し、犠牲者を慰霊
- 11/8 米大統領選でトランプ氏勝利、民主党のヒラリー・クリントン前国務長官を破る番狂わせ
- 12/9 韓国大統領の弾劾案可決、大統領は来年4月辞任の意向を表明したが、世論の憤りは収まらず、弾劾訴追案が野党3党と与党非主流派などの賛成で可決

第67年度例会



1 月例会「新年賀詞交歓会」
開催日:2017年1月10日(火)
開催場所:名古屋観光ホテル 曙の間
担当:総務委員会



2 月例会「爆発する人間力～呼び醒ませ心の人間力～」
開催日:2017年2月17日(金)
開催場所:名古屋能楽堂
担当:爆発する人間力確立委員会



3 月例会「AMAZING NAGOYA～国際都市名古屋の未来を共に描こう!～」
開催日:2017年3月7日(金)
開催場所:ウィルあいちウィルホール
担当:NAGOYAの未来発信委員会



4 月例会「徹底解析 経済ニュースからみる名古屋のリアルな現状」
開催日:2017年4月18日(火)
開催場所:名古屋芸術創造センター
担当:リアル経済研究委員会



5 月例会「次代へつなく平和への想い～ボーダーラインを乗り越えて～」
開催日:2017年5月22日(月)
開催場所:青少年文化センター(アートピア)
担当:次代へつなく歴史観構築委員会



6 月例会「心ある経営実践を発信する例会」
開催日:2017年6月19日(月)
開催場所:青少年文化センター(アートピアホール)
担当:心ある経営実践委員会



7 月例会「クールな NAGOYA からホットに国際貢献～あなたの小さな選択が世界を変える～」
開催日:2017年7月15日(土)
開催場所:愛知大学 名古屋キャンパス グローバルコンベンションホール
担当:クールでホットな NAGOYA 創造委員



8 月例会「名古屋の魅力を引き出す例会」
開催日:2017年8月27日(日)
開催場所:【第1会場】名古屋城二之丸広場・西之丸広場
【第2会場】名古屋能楽堂
担当:JCフェスティバル委員会



9 月例会「『その時、本当に大切な人を守れますか?』～明日、後悔しないために～」
開催日:2017年9月16日(土)
開催場所:名古屋工業大学 講堂 NITech Hall
担当:セーフティビジョン研究委員会



10 月例会「新しい価値観を生み出す勇健なる名古屋人育成グループ例会」
開催日:2017年10月28日(土)
開催場所:KITTE 名古屋イベントスペース 1 階
担当:勇健なる名古屋人育成グループ



11 月例会「国際都市 NAGOYA の価値観を創造しよう」
開催日:2017年11月30日(木)
開催場所:名古屋市美術館
担当:世界につながる価値観創造グループ他



12 月例会「次代へつなげよう『新たな価値観』」
開催日:2017年12月5日(火)
開催場所:名古屋東急ホテル
担当:財務委員会

第67年度事業



名古屋青年会議所の広報誌の発刊について
発行日:2017年1月・4月・7月・10月・12月・号外(8月)
担当:広報委員会



未来へのソウゾウリョクを育成する事業
開催日:2017年5月21日～8月5日
開催場所:名古屋市立松原小学校 体育館他
担当:未来へのソウゾウリョク育成委員会



スポーツマンシップ NAGOYA を育む事業の実施
開催日:2017年11月19日(火)
開催場所:Tonarino(トナリノ)・愛知県スポーツ会館
担当:スポーツマンシップ NAGOYA 委員会



新たな産学官の仕組みを形成する事業「生み出そう!産学官クラスター!」
開催日:2017年9月8日～11月15日
開催場所:ウイングあいち 中会議室他
担当:リアル経済研究委員会



未来を彩るテクノロジーを研究する事業「夢と希望で溢れる未来を!テクノロジーと共に歩む名古屋のまち」
開催日:2017年7月25日～9月10日
開催場所:名古屋テレビ塔・もちの木広場他
担当:未来を彩るテクノロジー研究委員会



3G-Project Globalnetwork Gathering for Next Generation
開催日:2017年7月26日～30日
開催場所:公益財団法人愛知県国際交流協会 セミナールーム他
担当:グローバルネットワーク推進委員会



名古屋交通安全プロジェクト2017～みんなで作る交通安全のまち、ギネス世界記録に挑戦!～
開催日:2017年12月17日(日)
開催場所:名古屋市立栄小学校体育館他
担当:次代の名古屋創造グループ



会頭支援特別会議
開催日:2017年1月1日～12月31日
開催場所:日本各地・世界各地
担当:会頭支援特別会議

2017年1月～12月 名古屋青年会議所の動き

- 1/10 1月例会新年賀詞交歓会、名古屋観光ホテルで新年賀詞交歓会を開催
- 3/7 3月例会「AMAZING NAGOYA～国際都市名古屋の未来を共に描こう!～」を開催
- 4/1 クールでホットな NAGOYA を創造する事業、カンボジアのオーガニックコットンを有松絞で製品プロデュースし世界貢献の仕組みを創造
- 5/22 5月例会「次代へつなく平和への想い～ボーダーラインを乗り越えて～」を開催
- 7/15 7月例会「クールな NAGOYA からホットに国際貢献～あなたの小さな選択が世界を変える～」を開催
- 7/25 未来を彩るテクノロジーを研究する事業、テクノロジーの可能性を実感し、使い手としての倫理観や道徳観を学ぶ事業を開催
- 9/8 新たな産学官の仕組みを形成する事業
- 10/22 JCエキスポ2017、子供たちのリアリティを伴った夢や目標の原体験となる職業体験を開催
- 11/30 11月例会「国際都市 NAGOYA の価値を創造しよう」を開催
- 12/5 12月例会、名古屋東急ホテルにて12月例会を開催

社会の動き

- 1月 トランプ米政権発足
- 5/9 文在寅政権発足
- 7月 IS、拠点陥落で事実上崩壊、米軍主導の有志連合などの支援を受けた地元勢力の作戦によりイラクとシリアの大半を駆逐された
- 8月 森友・加計・日報、政権揺るがす、「森友学園」への国有地格安売却と「加計学園」の獣医学部新設、自衛隊日報問題で内閣支持率低下
- 9月 北朝鮮、核・ミサイル開発加速、北朝鮮は核ミサイル開発を加速させ、大陸間弾道ミサイルの発射実験を繰り返し、9月には6回目の核実験を強行した
- 10月 習近平氏「1強」確立、習氏は反腐敗闘争での政敵打倒、言論統制での異論排除という特異な政治手法で権力を固め、2期目を迎え「1強」を完全確立
- 10月 電通に有罪、働き方改革へ機運、広告最大手の電通が10月、過労自殺した新入社員を含む4人に違法な残業をさせていた労働基準法違反罪に問われ有罪判決
- 10/22 衆院選で自民大勝、民進が分裂、第48回衆院選は10月22日に開票され、自民党が公示前勢力に迫る284議席を獲得して大勝した
- 11/30 NYダウ、2万4000ドル突破
- 12/8 天皇退位、2019年4月末に、政府は12月8日の閣議で天皇陛下が退位される日を「2019年4月30日」と定めた政令を決定し、13日に公布した

第68年度例会



1月例会「新年賀詞交歓会」
開催日：2018年1月9日（火）
開催場所：名古屋観光ホテル
担当：総務委員会



**2月例会「NO EDUCATION NO FUTURE!!
~子供の未来が危ない~」**
開催日：2018年2月28日（水）
開催場所：ウインクあいち 大ホール
担当：教育格差解消推進委員会



3月例会「道の精神を探求する例会」
開催日：2018年3月26日（月）
開催場所：名古屋能楽堂
担当：道の精神探求委員会



4月例会「輝く多様な個性!! ~すべての個人が協働できる社会を目指して~」
開催日：2018年4月20日（金）
開催場所：ウィルあいち
担当：ダイバーシティ確立委員会



5月例会「新しい成人教育の実践を発信する例会」
開催日：2018年5月9日（水）
開催場所：日本特殊陶業市民会館ビレッジホール
担当：新しい成人教育実践委員会



6月例会「あなたの子供は大丈夫? みんなで学ぼうネットモラル!」
開催日：2018年6月17日（日）
開催場所：デザインホール
担当：ネットモラル確立委員会



7月例会「ナゴヤ未来会議~みんなで創ろうナゴヤの未来~」
開催日：2018年7月29日（日）
開催場所：名古屋コンベンションホール
担当：まち・国づくり参画プラットフォーム創造委員会



8月例会「理数都市 NAGOYA を創造する例会」
開催日：2018年8月27日（月）
開催場所：青少年文化センター（アートピアホール）
担当：理数都市 NAGOYA 創造委員会



9月例会「リアルな名古屋を発信する例会」
開催日：2018年9月18日（火）
開催場所：ウィルあいち ウィルホール
担当：リアルな名古屋探究構築委員会



10月例会「地域で支える育児支援社会を確立する例会」
開催日：2018年10月23日（火）
開催場所：名古屋能楽堂
担当：地域で支える育児支援社会確立委員会



11月例会「描こう名古屋の未来予想図~どうなる10年後!?魅力のあるまちになってますか!?~」
開催日：2018年11月26日（月）
開催場所：青少年文化センター（アートピアホール）他
担当：リアルな名古屋探究構築委員会他



12月例会「~誇り高き創造者よ 創始の精神を次代へ~」
開催日：2018年12月4日（火）
開催場所：名古屋東急ホテル
担当：財務委員会

第68年度事業



名古屋青年会議所の広報誌の発行
発行日：2018年1月・4月・7月・10月・号外(7月)
担当：広報委員会



名古屋JC×ダイバーシティ~新ブランドが社会を変える~
開催日：2018年10月14日~12月2日
開催場所：障がい者みらい創造センター他
担当：ダイバーシティ確立委員会



世界で躍動するNAGOYAのアントレプレナー
開催日：2018年6月28日~10月27日
開催場所：名古屋JC会館
担当：NAGOYAのアントレプレナー発掘育成委員会



会員の資質を向上させる事業
開催日：2018年8月4日（土）
開催場所：ウインクあいち
担当：渉外委員会



入会説明会
開催日：2018年2月27日、3月23日
開催場所：名古屋 JC 会館
担当：オリエンテーション実行会議



グローバルな NAGOYA の人財を育成する事業
開催日：2018年6月23日~7月30日
開催場所：名古屋青少年宿泊センター
担当：グローバルな NAGOYA の人財育成委員会



会員の資質を向上させる事業
開催日：2018年9月6日（木）
開催場所：ウインクあいち 大会議室
担当：財務委員会



名古屋の観光を開発する事業
「#visitnagoya~このまちの未来へ向けて~」
開催日：2018年3月29日~9月29日
開催場所：名古屋 JC 会館他
担当：名古屋観光開発特別委員会

2018年1月~12月 名古屋青年会議所の動き

- 1/9 1月例会新年賀詞交歓会、名古屋観光ホテルで新年賀詞交歓会を開催
- 3/26 3月例会「道の精神を探求する例会」を開催
- 3/29~9/28 名古屋の加工を開発する事業、名古屋市内各地に観光用モニュメントを設置
- 6/1~12/31 これだけは知っておきたいネットモラル!!、道徳をベースとして独自にネットモラルプログラムを作成し出張授業を開催
- 6/17 理数都市 NAGOYA を創造する事業、市内在学の中学生に理数と名古屋のまちのつながり、理数の実用性と楽しさを認識していただくことを目的に開催
- 9/15~11/4 新しい成人教育を実践する事業を開催
- 9/18 9月例会「リアルな名古屋を発信する例会」を開催
- 10/14 名古屋 JC ×ダイバーシティ、障がい者や性的マイノリティなどの方がいるままの自分で生活できる社会の構築を目的に開催
- 10/23 10月例会「地域で支える育児支援社会を確立する例会」を開催
- 11/26 11月例会「描こう名古屋の未来予想図~どうなる10年後!?魅力あるまちになってますか!?~」を開催
- 12/4 12月例会、名古屋東急ホテルにて12月例会を開催

社会の動き

- 3/8 米国抜き TPP11 が発効、工業製品や農産品の関税撤廃・削減、知的財産権保護などのルールを定めており、貿易自由化を進め、太平洋をまたぐ新経済圏として発展
- 4/27 朝鮮半島非核化、南北首脳が合意、文在寅大統領と金正恩朝鮮労働党委員長は朝鮮半島の「完全な非核化実現」を共同の目標に掲げた「板门店宣言」に署名した
- 6月~9月 西日本豪雨、北海道地震、災害相次ぐ
- 6月 働き方改革、外国人就労で関連法、「働き方改革」関連法は、残業時間の上限に罰則付きの規制を導入することが柱で、70年ぶりの労働法制の大改正
- 6/12 米朝が史上初の首脳会談、朝首脳会談が史上初めて実現した、トランプ米大統領と北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長はシンガポールで会談
- 7/6 オウム松本元死刑囚らの刑執行
- 7月~9月 米中貿易摩擦が激化、知的財産権の侵害を理由に中国からの年間輸入額のほぼ半分の製品に追加関税を発動した
- 10/30 韓国最高裁、徴用工への賠償命じる、韓国最高裁は第2次大戦中の元徴用工の損害賠償請求訴訟で新日鉄住金に賠償を命じる判決を言い渡した
- 10/29 メルケル独首相「引退」、州議会選連敗の責任を取り、中道右派与党・キリスト教民主同盟の党首を辞任すると表明した
- 11月 日産ゴーン会長を逮捕

第69年度例会



1月例会「新年賀詞交歓会」
開催日：2019年1月15日（火）
開催場所：名古屋観光ホテル
担当：総務委員会



2月例会「真の生き方を探求する例会」
開催日：2019年2月6日（水）
開催場所：Zepp Nagoya
担当：真の生き方探求委員会



3月例会「SDGsを発信する例会～あしたのために、いまやろう～」
開催日：2019年3月30日（土）
開催場所：イオンモールナゴヤドーム前
担当：SDGs実践委員会



4月例会「ナゴヤから世界を変える!! 2019名古屋人問力大賞」
開催日：2019年4月25日（木）
開催場所：オアシス21 銀河の広場
担当：持続可能な社会貢献構築委員会



5月例会「雇用格差解消を実現する例会～共に働き、共に生きる～」
開催日：2019年5月23日（木）
開催場所：名古屋市公会堂 大ホール
担当：雇用格差解消実現委員会



6月例会「グローバルシティを探究構築する例会」
開催日：2019年6月1日（土）
開催場所：中京テレビ放送株式会社 本社社屋
プラザC
担当：グローバルシティ探究構築委員会



7月例会「その一歩が世界を変える～社会に尽くすヒーローとなれ～」
開催日：2019年7月6日（土）
開催場所：オアシス21 銀河の広場
担当：JCカンファレンス特別委員会



8月例会「歴史の観方は未来を創る～平和を維持する想い～」
開催日：2019年8月20日（火）
開催場所：名古屋市公会堂 大ホール
担当：未来型歴史観確立委員会



9月例会「ナゴヤ魅力EXPO DISCOVER YOUR NAGOYA」
開催日：2019年9月16日
開催場所：オアシス21 銀河の広場
担当：洗練された都市力強化委員会



10月例会「女性が輝く社会を目指す!! 多様な人財が活躍する企業に変わろう!!」
開催日：2019年10月2日（水）
開催場所：ウインクあいち 大ホール
担当：ジェンダー平等社会構築委員会



11月例会「JCブランドここにあり」
開催日：2019年11月10日（日）
開催場所：JETTY前広場
担当：JCブランド確立委員会



12月例会「社会を照らす光となれ」
開催日：2019年12月3日（火）
開催場所：名古屋東急ホテル
担当：財務委員会

第69年度事業



未来型平和祈念事業「名古屋城復興祭～名古屋城の歴史を知り、未来を創る～」
開催日：2019年5月6日（月）
開催場所：名古屋城 二之丸広場
担当：未来型歴史観確立委員会



すべての世代間で助け合う社会を実現する事業「高齢者が活躍する多世代交流サロン」
開催日：2019年7月2日～7月30日
開催場所：にしやまーゼ
担当：グランドジェネレーション活躍社会構築委員会



起業プラットフォームを創造する事業「起業家支援プログラム」
開催日：2019年7月26日～9月28日
開催場所：カラーブロックオフィス&カフェ他
担当：起業プラットフォーム構築委員会



洗練された都市力を強化する事業「来て!見て!教えて!名古屋の魅力」
開催日：2019年6月29日～7月28日
開催場所：大須商店街・有松のまち
担当：洗練された都市力強化委員会



ジェンダー平等社会を実現する事業「企業が変わる!社会を変える!輝けジェンダーフリーカンパニー!!」
開催日：2019年4月2日～6月27日
開催場所：イオンコンパス名古屋駅前会議室 RoomA+B他
担当：ジェンダー平等社会構築委員会



外国人雇用に関する知識を深める事業「外国人雇用の知識を深め、一歩踏み出そう!」
開催日：2019年10月7日～10月24日
開催場所：名古屋JC会館他
担当：グランドジェネレーション活躍社会構築委員会

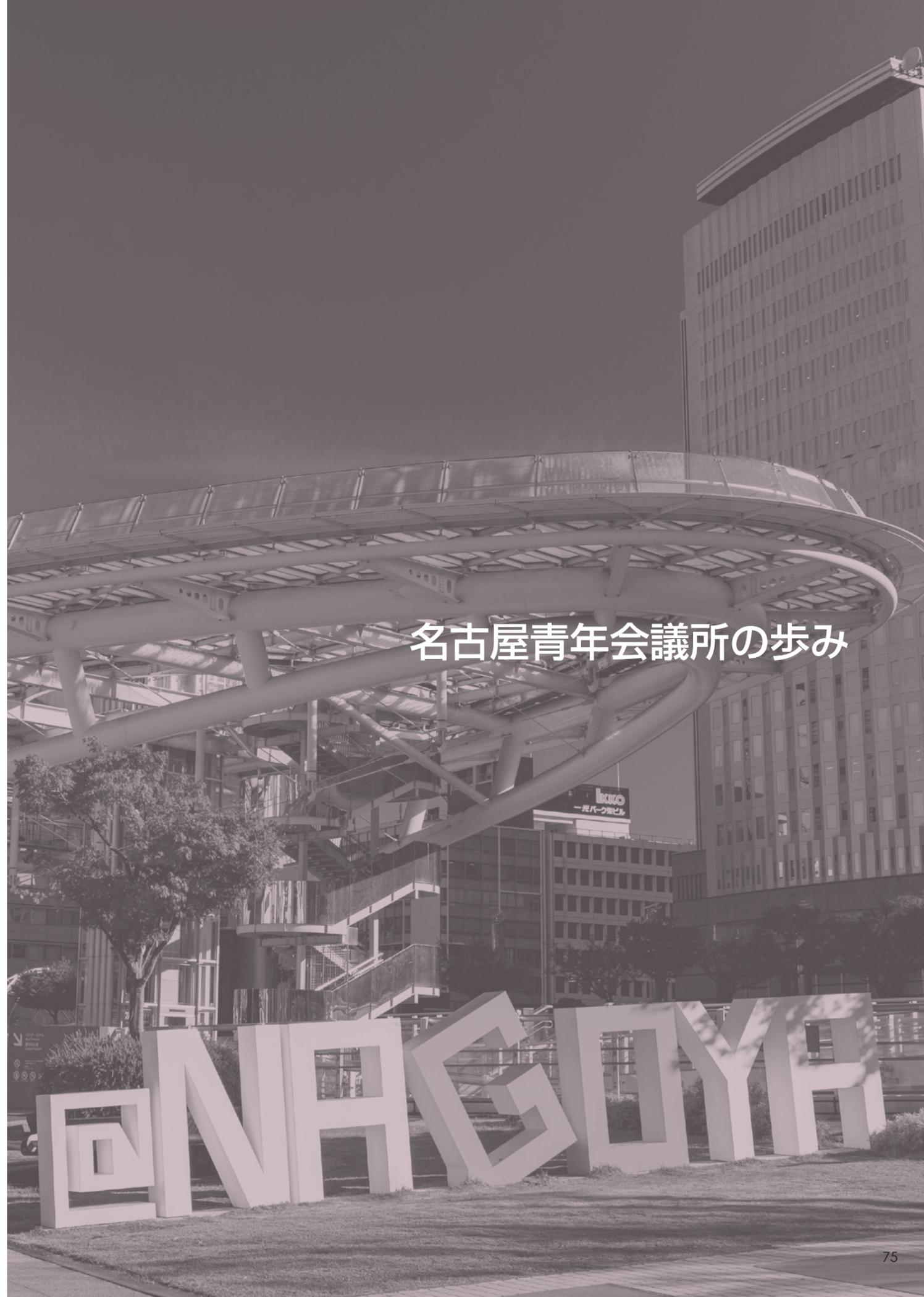
2019年1月～12月 名古屋青年会議所の動き

- 1/15 1月例会新年賀詞交歓会、名古屋観光ホテルで新年賀詞交歓会を開催
- 2/6 2月例会「真の生き方を探求する例会」を開催
- 3/30 3月例会「SDGsを発信する例会～あしたのために、いまやろう～」を開催
- 4/25 4月例会「ナゴヤから世界を変える!! 2019名古屋人問力大賞」を開催
- 5/23 5月例会「雇用格差解消を実現する例会～共に働き、共に生きる～」を開催
- 6/1 6月例会「グローバルシティを探究構築する例会」を開催
- 7/6 7月例会「その一歩が世界を変える～社会に尽くすヒーローとなれ～」を開催
名古屋青年会議所のブランディング・アイデンティティを確立する事業を開催、オアシス21に2基目となる@NAGOYA モニュメントを設置
- 8/20 8月例会「歴史の観方は未来を創る～平和を維持する想い～」を開催
- 9/16 9月例会「ナゴヤ魅力EXPO DISCOVER YOUR NAGOYA」を開催
- 10/2 10月例会「女性が輝く社会を目指す!! 多様な人財が活躍する企業に変わろう!!」を開催
- 11/10 11月例会「JCブランドここにあり」を名古屋港 JETTY 前広場にて名古屋港開港祭と共催で開催
- 12/3 12月例会、名古屋東急ホテルにて12月例会を開催

社会の動き

- 1月 米中貿易摩擦激化、18年末には制裁関税と報復関税の応酬を繰り返す「貿易戦争」の一時休戦で合意したが、協議は難航
- 5/1 令和へ代わり、天皇陛下は5月1日に即位され、令和の時代が始まった
- 6/9 抗議デモで香港騒乱、中国本土への容疑者引き渡しを可能にする逃亡犯条例改正案に反対し、デモが行われた
- 6/30 米大統領、初の北朝鮮入り、トランプ米大統領は南北軍事境界線をまたいで北朝鮮に足を踏み入れた、現職米大統領初
- 7/18 京アニ放火殺人36人死亡、「京アニアニメーション」第1スタジオに男が侵入し、ガソリンをまいて火を付けた、爆発火災でスタジオは全焼
- 8/4 笑顔の浪野、メジャー制覇、全英女子オープンで、浪野日向子が海外メジャー制覇を果たした
- 9/9 台風・豪雨で甚大被害、千葉市付近に上陸し57.5メートルの最大瞬間風速を観測するなど風が吹き荒れた
- 9/20 ラグビーW杯で列島熱狂、ワールドカップ日本大会が9月20日から11月2日まで開催され、日本中が熱狂した
- 10/1 消費税10%に、軽減税率導入、安倍政権は消費税を10%に引き上げた、増税は5年半ぶり
- 10/17 英EU離脱で混迷、選挙で決着、ジョンソン首相がEUと合意した離脱案も議会で採決が先送、期限は3度にわたり延期
- 11月 日韓関係が悪化、打開糸口探る、第2次大戦元徴用工への賠償を日本企業に命じた韓国最高裁判決を機に、日韓関係は急速に悪化

名古屋青年会議所の歩み



名古屋青年会議所の歩み

第1年度	第2年度	第3年度	第4年度	第5年度	第6年度	第7年度	第8年度	第9年度	第10年度	第11年度	第12年度	第13年度	第14年度	第15年度	第16年度	第17年度	第18年度	第19年度	
6月25日 ●大隈孝一初代理事長、名古屋商工会議所を創立し、より名古屋青年会議所設立を熱心に進められる	8月1日 ●名古屋青年会議所設立委員会を開催 初代理事長に大隈孝一氏	2月9日 ●名古屋JCIも設立メンバーとなり日本青年会議所創立	5月27日 ●カナダ・モントリオールでの第6回世界会議において日本JCIはJCIに正式加盟	2月 ●青少年不良化防止対策等10委員会設置	10月18日 ●第4回少年弁論大会に協力	4月13日 ●フィリピン・モントレルパ収容所へ日本JCIが慰問団を派遣	11月7日 ●第1回全国会員大会を名古屋商工会議所で開催	2月1日 ●ホーシージCI会頭夫妻来名	11月2日 ●公募により集まった児童画を西ドイツへ送る	4月28日 ●名古屋テレビに日章旗を寄贈	12月10日 ●名古屋商工会議所で国際児童画展覧会を開催	2月17日 ●広小路資生堂画廊で日章旗児童画展を開催	9月22日 ●半田市の新生寮を慰問し、入寮者を励ます	12月10日 ●名古屋商工会議所で国際児童画展覧会を開催	9月22日 ●名古屋テレビに日章旗を寄贈	12月10日 ●名古屋商工会議所で国際児童画展覧会を開催	9月22日 ●名古屋テレビに日章旗を寄贈	12月10日 ●名古屋商工会議所で国際児童画展覧会を開催	9月22日 ●名古屋テレビに日章旗を寄贈

1950 1951 1952 1953 1954 1955 1956 1957 1958 1959 1960 1961 1962 1963 1964 1965 1966 1967 1968 1969

社会の動き

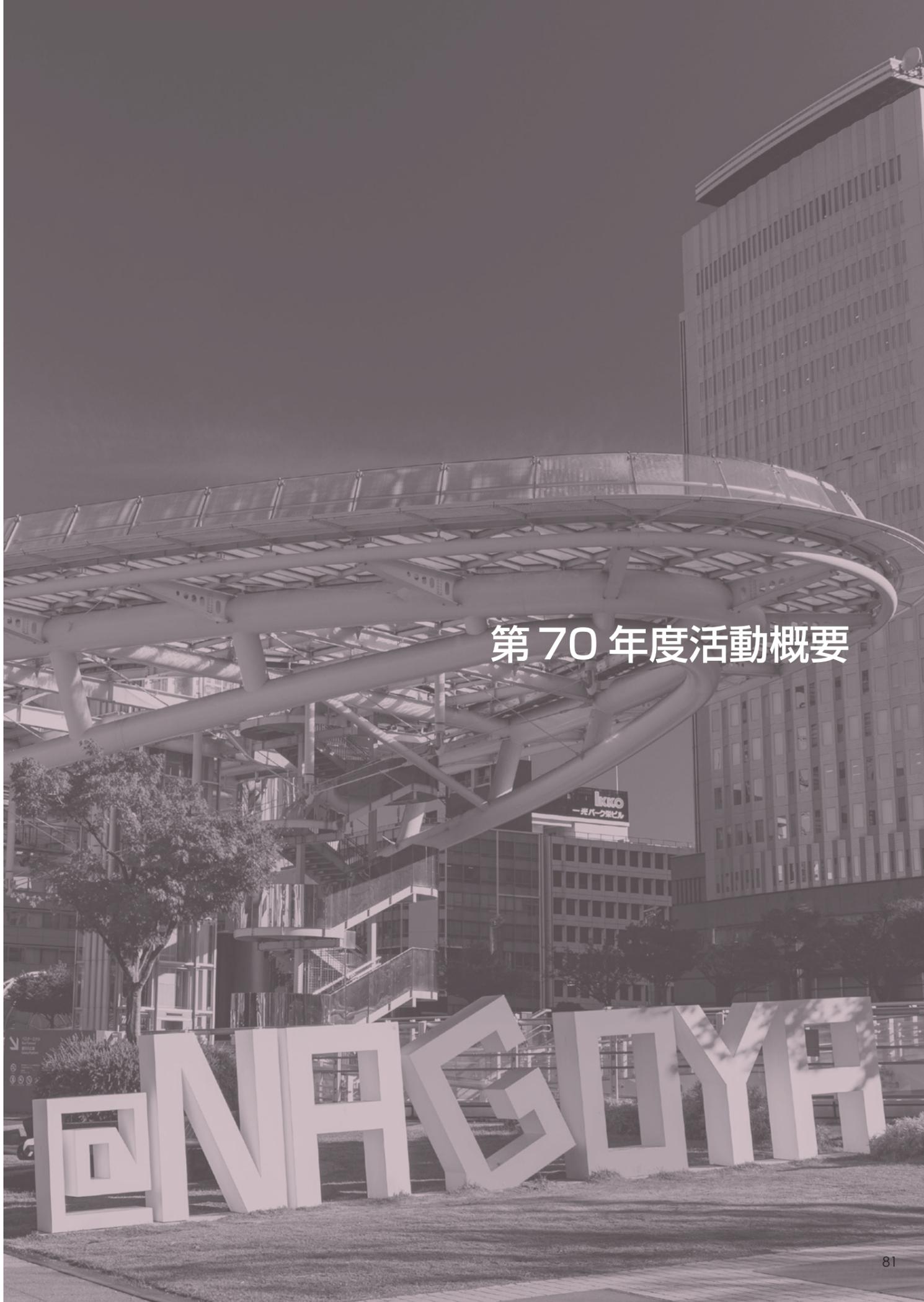
6月25日 ●朝鮮戦争始まる	11月10日 ●NHK東京テレビジョン実験放送開始	5月1日 ●中部電力発足	9月 ●サンフランシスコ条約調印・日米安全保障条約調印	3月20日 ●名古屋空港開港	7月31日 ●警察予備隊を保安隊に改組	1月1日 ●NHK東京テレビが本放送を開始	7月27日 ●朝鮮休戦協定調印	3月1日 ●ヒキニ水爆実験で第五福竜丸被爆	6月9日 ●防衛庁設置法・自衛隊法公布	6月29日 ●名古屋―米原間を電気機関車第1号が走る	11月15日 ●民・自両党が解党し自由民主党結成	12月15日 ●米軍より名古屋市公舎返還	12月1日 ●中部日本放送がテレビ放送を開始	1月29日 ●南海に昭和基地設置	8月27日 ●東海村原子力研究所に「原子の火」とも	3月9日 ●閩門国道トンネル開通	12月22日 ●東京タワー完工	3月31日 ●名古屋市とロサンゼルス市が姉妹都市提携	9月26日 ●伊勢湾台風が上陸し被害甚大	6月15日 ●自民党、高度成長・所得倍増政策を発表	9月5日 ●安保改正阻止第2次実行行使に580万人参加	6月12日 ●愛知用水完工	12月17日 ●農業基本法公布	2月1日 ●名古屋科学館開館	11月3日 ●東京都、世界初の1000万都市に	2月15日 ●ケネディ米大統領、ダラスで暗殺	11月23日 ●名古屋市13番目の区として守山区発足	9月5日 ●東京オリンピック開会	10月10日 ●東京高速開通	2月7日 ●ベトナム戦争開始	11月1日 ●東海道新幹線（東京―大阪間3時間10分）	6月29日 ●ビートルズ来日	10月11日 ●政界一連の汚職・腐敗事件「黒い霧」	3月30日 ●地下鉄東西線東山公園―星が丘・南北線栄―金山開通	6月5日 ●第3次中東戦争始まる	1月29日 ●熊本、新潟の水俣病を公害病と認定	9月26日 ●東大紛争始まる	5月26日 ●アポロ11号人類初月面到着
-------------------	------------------------------	-----------------	--------------------------------	-------------------	------------------------	--------------------------	--------------------	--------------------------	------------------------	-------------------------------	-----------------------------	-------------------------	---------------------------	---------------------	------------------------------	---------------------	--------------------	-------------------------------	-------------------------	------------------------------	--------------------------------	------------------	--------------------	-------------------	----------------------------	---------------------------	-------------------------------	---------------------	-------------------	-------------------	--------------------------------	-------------------	------------------------------	------------------------------------	---------------------	----------------------------	-------------------	-------------------------

第20年度 第21年度 第22年度 第23年度 第24年度 第25年度 第26年度 第27年度 第28年度 第29年度 第30年度 第31年度 第32年度 第33年度 第34年度 第35年度 第36年度 第37年度 第38年度 第39年度

10月17日 ●名古屋青年会議所創立20周年記念式典を開催	10月18日 ●名古屋JCI主任による第19回全国会員大会を開催	3月26日 ●3月例会「70年代の課題―今後の日中関係について」を開催	4月19日 ●4月例会「守ろう明日の環境を」を開催	2月25日 ●2月例会「あすの世界を考える―期待される日本の外交」を開催	4月21日 ●4月例会「守ろう明日の環境を」を開催	4月14日 ●4月例会「パナマデイスカッション―交通事故を減減しよう―幼児に交通安全教育を」を開催	6月14日 ●6月例会「世界のエネルギー危機と日本―あおい地球と資源不足の国際協調」を開催	8月27日 ●JCI統一事業「ラブ・ナゴヤ」を開催	9月1日 ●JCI統一事業「ラブ・ナゴヤ」を開催	4月6日 ●創立25周年記念式典を開催。記念講演とタイムカプセル事業が行われる	8月30日 ●JCI統一事業「ラブ・ナゴヤ」を開催	5月10日 ●5月例会「我が経営を語る」を開催。講師は松本幸之助氏	8月20日 ●8月例会「日本の自立と連帯―断つてみよう我々の関係」を開催	5月17日 ●5月例会「活力ある青年都市をめざして」を開催	6月18日 ●6月例会「青年会議―市制100年をめざす青年の主張」を開催。講師は本山名古屋市長	2月20日 ●2月例会「どうなる！日本経済この1年」を開催	6月23日 ●6月例会「名古屋青年会議所―オリンピック'88を考える」を開催	7月17日 ●名古屋大都市圏青年会議「これでいいのか明日の名古屋」を開催	11月19日 ●11月例会「80年代の日本の針路」を開催	5月18日 ●名古屋青年会議所創立30周年記念事業を開催	8月30日 ●5月重点事業「名古屋オリンピックフェスティバル」を開催。名古屋で初めてシティマラソンを実施	6月 ●コンベン事業「親と子で歩こう我が郷土名古屋」を開催	6月27日 ●6月例会「81 TALK IN NAGOYA―活力ある名古屋大都市圏づくり」を開催	9月10日 ●講演「名古屋JCI日臨調―行政改革、国から地方へ」を開催	10月16日 ●10月例会シンポジウム「活力とゆとりある都市をめざして」を開催	4月9日 ●行革推進フォーラム名古屋大会「進めよう行革の精神、明るい日本を我らの手で」を開催	10月7日 ●名古屋市民シンポジウム「36時間18本上映を開催	7月22日 ●第1回わんぱく相撲名古屋場所を白川公園で開催	11月17日 ●JCIモントリオール世界会議において「86JCI世界会議in名古屋」が正式決定	7月12日 ●栄・久屋大通公園を去るに名古屋映画祭を開催。10万人が熱狂	9月 ●9月例会「市民参加のオープン例会―家庭教育の本質を探る」を開催	5月12日 ●消費動向にスポットを当てたパナデイスカッション「集める、時代から集まる、時代へ―複合経営戦略を探る」を開催	11月5日 ●第41回JCI名古屋世界会議開催	7月21日 ●講師講演会「世界に開かれた名古屋の街づくりを考える」を開催	8月28日 ●活躍中の3女性を招いてパナデイスカッション「今、オ・ン・ナが元気！―女性の感性を生かすには」を開催	6月29日 ●伝統文化鑑賞を中心に、6月例会「新たな文化創造を考える―伝統、継承、創造」を開催	8月3日 ●4月から行ったクリンナゴヤ事業の集大成として8月例会「クリンナゴヤを目指して―今名古屋に求められるパナデザインとは何か」を開催	2月20日 ●名古屋の未来像を国土政策の面から話し合うパナデイスカッション「なごや21―夢ある産業技術首都をめざして」を開催	10月10日 ●名古屋'89」を開催
----------------------------------	-------------------------------------	--	------------------------------	---	------------------------------	--	--	------------------------------	-----------------------------	--	------------------------------	--------------------------------------	---	----------------------------------	--	----------------------------------	---	---	---------------------------------	---------------------------------	---	----------------------------------	---	--	--	---	------------------------------------	----------------------------------	--	---	--	---	----------------------------	---	---	--	--	---	-----------------------

1970 1971 1972 1973 1974 1975 1976 1977 1978 1979 1980 1981 1982 1983 1984 1985 1986 1987 1988 1989 1990

3月14日 ●大阪でアジア初の日本万国博覧会開催	3月31日 ●赤軍派学生9人、日航機「ヒビキ」をハイジャック北朝鮮へ	8月28日 ●第一銀行と日本勧業銀行が合併し預金残高日本1位の日本勧業銀行発足	10月1日 ●日本円、暫定的に変動相場制に移行	5月15日 ●沖繩返還、沖繩県が発足	9月25日 ●田中角栄首相訪中し、日中外交正常化共同声明を発表。その後パンダが上野動物園へ	10月24日 ●石油ショック、サウジアラビアが日への原油価格70%値上げ、10%削減を通告	12月3日 ●名古屋市の千種、昭和両区の区分に名古屋、天白区決まる	8月8日 ●ウオーターゲート事件でニクソン米大統領辞任	11月5日 ●ローマで世界食糧会議開催	4月30日 ●南ベトナムサイゴン政府降伏、ベトナム民族解放戦争終結	11月15日 ●第1回先進国首脳会議（サミット）をフランスのラファイエで開催	4月13日 ●カンボジア、ポルポト政権が成立大虐殺が始まる	7月27日 ●ロッキード事件で田中角栄首相逮捕	6月3日 ●中国で文化大革命の終結を宣言	8月13日 ●独占禁止法改正案可決	5月20日 ●米中国交正常化発表	12月15日 ●成田空港開港	5月4日 ●英国で保守党が圧勝、サッチャー女史が首相に就任	12月12日 ●リニアモーターカー宮崎県実験セクターで時速504kmを達成	9月9日 ●イラン・イラク戦争勃発	12月8日 ●ジョンレンソン氏、射殺される	1月6日 ●ノーベル平和賞受賞者のマザー・テレサが来日	4月22日 ●政府、2月7日を「北方領土の日」と決定	2月8日 ●ホテルニュージャパンで火災	7月30日 ●第3次臨調答申「国鉄・電電・専売の3公社の分割民営化を提言	4月15日 ●東京デイズニード開催	11月9日 ●レーガン米大統領来日、日本の市場開放と防衛努力を要請	3月18日 ●江崎クリコ社長誘拐事件起きる	10月25日 ●東山動物園にオーストラリアからコアラが到着	4月1日 ●NTT、日本たばこ産業株式会社発足	8月12日 ●日航ジャンボ機、群馬県御巣鷹山に墜落	4月1日 ●男女雇用機会均等法施行	4月26日 ●ソ連チェルノブイリ原発事故発生	4月1日 ●国鉄を分割民営化し、JR6社などが発足	10月19日 ●ニューヨーク株式市場で史上最大の暴落（ブラックマンデー）	6月18日 ●リクルート事件発覚	8月20日 ●イラン・イラク戦争で停戦協定成立	1月7日 ●昭和天皇崩御	4月1日 ●消費税3%スタート
-----------------------------	---------------------------------------	--	----------------------------	-----------------------	--	--	--------------------------------------	--------------------------------	------------------------	--------------------------------------	---	----------------------------------	----------------------------	-------------------------	----------------------	---------------------	-------------------	----------------------------------	--	----------------------	--------------------------	--------------------------------	-------------------------------	------------------------	---	----------------------	--------------------------------------	--------------------------	----------------------------------	----------------------------	------------------------------	----------------------	---------------------------	------------------------------	---	---------------------	----------------------------	-----------------	--------------------



第70年度活動概要

第70年度活動概要



1月例会「新年賀詞交歓会」
開催日：2020年1月14日（火）
開催場所：名古屋観光ホテル
担当：総務委員会

第70代光田侑司理事長が、第70年度の所信を発表した。また、ご臨席いただいた中部経済産業局長 高橋淳氏・愛知県知事 大村秀章氏・名古屋市長 河村たかし氏・JCI日本副会長 岡村徳久君から祝辞をいただいた。



2月例会「みんなが活躍できる社会へ 持続可能な名古屋をつくろう」
開催日：2020年2月16日（日）
開催場所：ウインクあいち 大ホール
担当：経世済民確立特別委員会

サブフォーラム1では、原田宗彦氏（早稲田大学スポーツ科学学術院 教授）・山口素弘氏（名古屋グランパスエイト アカデミーダイレクター）・中尾美樹氏（元水泳日本代表選手）を講師にお招きし、アジア競技大会を契機とした人づくり・まちづくりについてお話しいただいた。サブフォーラム2では、厚切りジェイソン氏（お笑いタレント）・近藤秀将氏（特定行政書士・社会学者）を講師にお招きし、日本企業の現状と外国人雇用についてパネルディスカッションをいただいた。メインフォーラムでは、青野慶久氏（サイボウズ株式会社 代表取締役社長）を講師としてお招きし、「良い会社」のあり方について、サイボウズ株式会社での実績を踏まえてご講演いただいた。



3月例会「名古屋人間力大賞」
開催日：2020年3月16日（月）
開催場所：愛知大学名古屋キャンパスグローバルコンベンションホール
担当：リカレント教育推進委員会

人生100年時代のロールモデルとなる人財を発掘して広く活動を発信するため、事前選考会を経て選出された5名のプレゼンターによるプレゼンテーションを実施した。また、山本左近氏（元F1ドライバー）と鶴岡宏成氏（名古屋市立大学大学院経済学研究科 教授）をお招きし、人生100年時代の生き方についてディスカッションをいただいた。（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、無観客にて開催し、YouTubeにてライブ配信を行った。）



9月例会「社会課題解決×ビジネス～社会課題に取り組みたいあなたへ～」
開催日：2020年9月14日（月）
開催場所：なごのキャンパス 体育館
担当：社会課題解決人財育成委員会

学生起業家である小川嶺氏（株式会社タイミー 代表取締役）を講師に迎え、起業を志す上で大切なマインド等についてお話しいただいた。パネルディスカッションでは、ZIP-FM ミュージックナビゲーターのMEGURU氏の司会のもと、パネリストに佐々木紀彦氏（株式会社ニクス 取締役）や、名古屋青年会議所と共同事業を実施した学生たちにもご参加いただき、社会課題解決の活動を継続的に行うために活動していくことの大切さについて意見交換が行われた。（新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、会場参加者は100名に限定し、同時にYouTubeにてライブ配信を実施した。）

7月例会「70周年記念式典」



開催日：2020年7月11日（土）
開催場所：ホテルナゴヤキャッスル 天守の間
担当：70周年特別委員会

70周年という節目に際し、今一度名古屋青年会議所の歴史・先達の想いに触れて、これらを次代に引き継ぐことを目的として開催した。特別来賓として名古屋市長 河村たかし氏をお迎えし、ご挨拶いただいたほか、中部経済産業局長 高橋淳氏・愛知県知事 大村秀章氏からはビデオメッセージにてご挨拶いただいた。来訪青年会議所を代表して、公益社団法人日本青年会議所2020年度会頭 石田全史君よりご挨拶いただいたほか、当会議所の姉妹青年会議所であるJCI九龍・JCIマニラ・JCI台北女子・JCIハワイカイ・JCIシドニーより、各国の特色が十分に詰まったビデオメッセージをいただいた。歴代理事長を代表して、第21代理事長 中北智久先輩よりご挨拶いただいた。また、当会議所の事業として20年前に生まれた少年少女合唱団地球組には、With コロナ時代ならではの、123名によるリモート合唱動画をご披露した



いただいた。時間差入場・サーモグラフィーによる入口での体温チェック・マスク着用の義務化・個別の体温検査・客席のソーシャルディスタンスの確保・演台前の飛沫防止用アクリル板設置・インターネット配信の併用等、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためにあらゆる手段を講じた。新型コロナウイルス禍において、全国の青年会議所が活動を制限される中、数百人規模での周年行事が開催されたのは本例会が初めてとなった。



5月例会「職場環境を整えて持続可能な会社をつくろう！～家事・育児分業の促進が会社を変える～」
開催日：2020年5月14日（木）
開催場所：名古屋JC会館
担当：ジェンダー平等社会構築委員会

会員が抱える会社の悩みを解決するためのサービスを提供する3社の企業にご参加いただき、プレゼンテーション大会を実施した。また、「家族を最強チームにするミーティングシート」の作成にご協力いただいた家事シェア研究家の三木智有氏と、このシートを5月13日までに最も推進していただいたアウインターナショナル株式会社の右近雅也氏の対談を通じて、家庭内における家事・育児分業の推進の重要性について理解を深めた。（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、Zoomにてオンライン開催した。）



6月例会「民間外交を推進する例会 GLOBAL NIGHT ～民間外交を語る熱い夜～」
開催日：2020年6月8日（月）
開催場所：名古屋JC会館
担当：民間外交推進委員会

JETRO（日本貿易振興機構）並びに中小機構のアドバイザーを務め、中小企業診断士としても活躍されている大槻恭久氏を講師に迎え、緊急事態に直面しても持続可能な経営を行っていくために必要なことは何かについてご講演いただいた。また、JCIマニラのJohn Ignacio Bautista Jr. 理事長や、カンボジアで飲食店を運営されている中尾健太氏にも現地から飛び入り参加していただき、国際色あふれる例会となった。（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ZoomとYouTubeを併用し、オンライン開催した。）



8月例会「理事候補者選出選挙 立会演説会」
開催日：2020年8月28日（金）
開催場所：ウインクあいち 大ホール
担当：総務委員会

2021年度（第71年度）の理事を選出するための理事候補者選出選挙の立会演説会として開催した。第1回コーカス・第2回コーカスはYouTubeによるライブ配信にて開催し、選挙事務所もZoom上で設営するなど、感染症対策を徹底し、オンラインを活用した選挙となったが、締めくくりとなる本例会は、会員が会場に集まる形で開催した。

10月例会「JCフェスティバル例会」



開催日：2020年10月3日（土）
開催場所：ポートメッセなごや他
担当：70周年特別委員会他

メインフォーラムでは、まず、名古屋における能の第一人者である久田勘鷹氏から、数百年にわたり連綿と受け継がれてきた能文化について、ご講演いただき、その後、久田勘鷹氏による半能「石橋」、野村萬斎氏による狂言「佐渡狐」、観世清和氏による能「羽衣」をご披露いただいた。また、メインフォーラム開会前、同会場にて、企業ブース等の展示を行った。多くの協賛企業にブースをご出展いただいたほか、当会議所が雇用格差解消を実現するために取り組んできた事業において開発された、障がい者支援施設等とのコラボレーション商品「サクッキー」の紹介もさせていただいた。さらに、名古屋のまちの



魅力を発信し、インバウンド需要の増加につなげるため、公益財団法人名古屋観光コンベンションビューローとの共催にて、ロゲイング〜アクセシブルナゴヤ2020〜を開催した。

理事長	光田 侑司		
直前理事長	浅野 弘義		
副理事長	鈴木 信輝	橋田 英明	
	遠藤 圭	高橋 雅大	
専務理事	齋藤 亮治		
常務理事	土屋 勝義		
監事	田中 良知	伊藤 崇	
	大井 貴正	春名 潤也	
顧問	武田 裕規	佐地 宏之	
	白瀧 征人	寺田 拓也	
	西原 政熙		
常任理事	小林 靖浩	木下 智靖	
	高田 智仁	山田 洋資	
	太田 武志	山内 昭吾	
	鶴岡 伸弥	相羽 哲弘	
	杉山 浩子		
出向役員	深澤 和将	早矢住友幸	
理事	竹腰 正見	吉川 徹	
	岩下 大高	安田 将之	
	岩崎英一郎	安井 琢磨	
	太田 佳典	松岡 秀佳	
	三宅 功一	寺嶋 聡	
	杉原 雅也	秋元 隆弘	

編集後記

まずは、本誌作成に当たってご祝辞を賜りました関係者の皆様、そして、多大なるご協力を賜りました第21代理事長 中北智久先輩をはじめとします歴代理事長の皆様へ、この場を借りて、厚く御礼申し上げます。

歴代理事長と光田理事長との対談記事作成に当たり、歴代理事長の皆様の会社を訪問させていただき、光田理事長とお話を横で聞かせていただきました。歴代理事長の皆様のお話から、毎年度、形は違えど、強い想いをもって運動構築をされてきたのだということ強く感じました。また、異口同音に「失敗を恐れずチャレンジすること」の大切さを説かれていたのが印象的でした。そして何より、先輩方が連綿と紡いでこられた歴史こそが、私たち名古屋青年会議所にとって何ものにも代えがたい財産なのだと、改めて強く認識させていただきました。

本誌が、今後の名古屋青年会議所を背負っていく次代のリーダーたちにとって、運動構築の道しるべとなり、ひいては、持続可能な名古屋の創造への一助となれば幸いです。改めまして、70周年記念誌作成という大役をお任せいただきましたことに感謝申し上げます。

2020年12月吉日

公益社団法人名古屋青年会議所 2020年度(第70年度)

広報・ブランディング委員会 委員長 吉川 徹

編集メンバー

広報・ブランディング委員会

委員長：吉川 徹	河本 和寛	小嶋 将	近藤 哲哉	重田 一親	高田総一郎		
副委員長：加納 靖子	青木 久将	安藤 恭平	石神 正雄	石川 大輔	石田 大輔	加藤 丈博	
委員：相原 玲彦	木全 貴大	小島 将輝	後藤 迪廣	近藤 洋平	酒井 大輔	櫻井 通	
	須田悠花子	高木茂太郎	則竹 雄	福井 敏志	藤原 幹	舟橋 壱真	
	松本 崇義	矢内 直也	吉田 憲司				
アドバイザー：高橋 亮							

事務局

事務局長：西垣 香織
 事務局員：磯村 彩 向田 有香 中村 春奈

発行所／公益社団法人 名古屋青年会議所
〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目15番24号
TEL(052)221-8590
FAX(052)202-0464
編集責任者／吉川 徹
制作：株式会社アオイ・グラビア
協力：株式会社三晃社

発行日／令和2年12月

70th
ANNIVERSARY



JCI  TM
Nagoya